

保健学部

臨床検査技術学科	127
健康福祉学科	131
救急救命学科	135
看護学科・看護学専攻	
基礎・在宅看護学研究室	136
成人・高齢者看護学研究室	138
母子看護学研究室	139
助産学研究室	139
小児看護学研究室	139
地域看護学研究室	139
精神看護学研究室	140
医療科学 I 研究室	140
看護学科・看護養護教育学専攻	140
臨床工学科	143
理学療法学科	146
作業療法学科	150
診療放射線技術学科	152

● 臨床検査技術学科 ●

相磯 聡子

講演

1. 相磯聡子, 八巻明子, 星野諒太, 坂下恵吾, 佐藤嘉見, 西澤裕太, 大西宏明: 血清マイクロRNAの多様な安定性. 第39回日本分子生物学会年会, 横浜, 2016年11月30日-12月2日.

論文

1. Aiso T, Takigami S, Yamaki A, Ohnishi H¹ (1 Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine): Degradation of serum microRNAs during transient storage of serum samples at 4° C. *Ann Clin Biochem* 2017. (in press).

報告書

1. 相磯聡子: 肺癌の早期診断を目指した血中miRNA定量に関する基盤的研究. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 2015年度 研究実施状況報告書.

大迫 俊二

講演

1. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 菅野尚子, 上春浩貴, 陳黙, 長谷川瑠美, 加藤たか子, 瀧上周, 大迫俊二, 加藤幸雄: 細胞表面抗原CD90を利用したラット下垂体前葉からのTSH産生細胞の単離. 第89回日本内分泌学会学術総会, 京都, 2016年4月20-23日.
2. 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二: ラット下垂体前葉におけるケモカインおよびケモカインレセプターの発現解析. 第57回日本組織細胞化学会総会学術集会, 東京, 2016年9月3-4日.
3. 堀口幸太郎, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 加藤たか子, 加藤幸雄: ラット下垂体前葉内TSH産生細胞における細胞表面抗原CD90の発現. 第109回日本繁殖生物学会, 相模原, 2016年9月12-14日.
4. 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二: 下垂体前葉内濾胞星状細胞で発現するケモカインCXCL10の機能解析. 第45回杏林医学会総会, 三鷹, 2016年11月19日.
5. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉内濾胞星状細胞が発現するCD抗原の探索. 第122回日本解剖学会学術総会, 長崎, 2016年3月28-30日.

論文

1. Horiguchi K, Fujiwara K¹, Tsukada T¹, Yoshida S², Higuchi M², Tateno K, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Yashiro T¹, Kato T², Kato Y² (1Jjchi University, 2Meiji University): CXCL10/CXCR3 signaling mediates inhibitory action by interferon-Gamma on CRF-stimulated adrenocorticotrophic hormone (ACTH) release. *Cell Tissue Res.* 364(2):395-404, 2016.
2. Horiguchi K, Nakakura T¹, Yoshida S², Tsukada T³, Kanno N², Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Kato T², Kato Y² (1Teikyo University, 2Meiji University, 3Toho University): Identification of THY1 as a novel thyrotrope marker and THY1 antibody-mediated thyrotrope isolation in the rat anterior pituitary gland. *Biochem Biophys Res Commun.* 480(2):273-279, 2016.

加藤 英世

講演

1. 加藤英世: 看護って? 看護師の仕事とその使命. 東京都立小平高等学校キャリア教育, 小平, 2016年4月12日.

2. 加藤英世: 生徒ができる応急処置の基本. 私立白梅高等学校, 小平, 2016年月4月20日.
3. 加藤英世: 高齢者の看護と介護. 大学訪問の高校生, 三鷹, 2016年6月16日.
4. 加藤英世: 高齢者のQOLを高める音楽の活用. あきる野, 2016年7月9日.
5. 加藤英世: 音楽と健康. ソノラスコート三鷹, 三鷹, 2016年9月18日.
6. 加藤英世: 幼児のけがの防止. 八王子中村学園なかの幼稚園, 八王子, 2016年10月18日.
7. 加藤英世: 障がい児の健康とその支援. 羽村, 2016年11月30日.
8. 加藤英世: 中学生への命の教育-性の知識を深める-. 八王学園八王子中学校, 八王子, 2017年1月11日.

小林 治

講演

1. 小林治: 抗菌薬が効かない細菌感染症の蔓延と阻止. 杏林大学・三鷹ネットワーク大学共催講演会, 三鷹, 2016年5月14日.
2. 小林治: 感染症の基礎. 大日本住友製薬社内研修会. 武蔵野, 2016年7月14日.
3. 小林治: 集団的個別指導. 習志野, 2016年9月8日.
4. 小林治: 集団的個別指導. 成田, 2016年9月29日.
5. 小林治: 抗インフルエンザ医薬品開発と国際貢献. 日本感染症医薬品協会 メディカルサイエンスセミナー, 東京, 2016年10月18日.
6. 小林治: インフルエンザの予防・診断・治療. 越谷市医師会講演会, 越谷, 2016年10月21日.
7. 小林治: 保険診療における指導・監査の実際. 杏林大学保険診療講習会, 三鷹, 2016年11月16日.
8. 小林治: 集団的個別指導. 松戸, 2016年11月17日.
9. 小林治: 集団的個別指導. 君津, 2016年12月1日.
10. 小林治: インフルエンザの予防・診断・治療. 日野市医師会学術講演会, 日野, 2016年12月6日.
11. 小林治: 特定共同指導を受けるにあたって. 杏林大学特定共同指導対策講演会, 三鷹, 2016年12月7日.
12. 小林治: 集団的個別指導. 長生郡, 2017年1月19日.
13. 小林治: 院内感染の実際と予防. 西多摩医師会専門医講習会, 昭島, 2017年3月12日.
14. 小林治: 風邪診療における抗菌療法. 西東京市医師会学術講演会, 西東京, 2017年3月21日.

論文

1. 小林治: ウイルス感染症に伴う呼吸障害. *Respiratory Medical Research* 4(2):101-105, 2016.

著書

1. 小林治: Favipiravir. 感染症最新の治療 2016-2018. 藤田次郎, 竹末芳生, 館田一博編. 東京, 南行堂, 2016. p. 340-342.

田口 晴彦

講演

1. 蔵田訓, 大崎敬子, 米澤英雄, 田口晴彦, 神谷茂: 肺炎マイコプラズマ菌体抗原感作が濾胞ヘルパーT細胞分化に及ぼす影響. 第90回日本感染症学会総会・学術集会, 仙台, 2016年4月15-16日.
2. 田口晴彦: マイコプラズマ肺炎の病態形成メカニズムとその制御. 第43回日本マイコプラズマ学会学術集会, 長

崎, 2016年6月24-25日.

3. 高橋志達, 田口晴彦, 神谷茂: *Clostridium difficile* 感染症(DIC)と腸内細菌-プロバイオティクスの作用- . 第19回日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会, 三鷹, 2016年8月27日.
4. 田口晴彦, 神谷茂, 高橋志達: 腸内細菌叢とプロバイオティクス. 第9回日本キャンピロバクター研究会総会, 三鷹, 2016年11月26日.

論文

1. 田口晴彦: マイコプラズマ肺炎の病態形成メカニズムとその制御. 日本マイコプラズマ学会雑誌 43:72-74, 2016.

その他

1. 田口晴彦: 第19回日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会主催, 三鷹, 2016年8月27日.

森田 耕司

講演

1. 日暮芳己, 森田耕司, 藤本文恵, 佐藤智明, 奥川周, 森屋恭爾: 第三世代セフェム系抗菌薬耐性大腸菌の plasmid replicon型分類. 第28回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 長崎, 2017年1月20-22日.
2. 森田耕司, 渡辺登, 日暮芳己: *bla_{TEM}* 遺伝子と *bla_{CTX-M}* 遺伝子をコードする接合性Rプラスミドの伝達頻度とレプリコンタイプ. 第4回医療危機管理研究会, 千葉, 2017年2月18日.
3. 森田耕司, 日暮芳己, 渡辺登: CTX-M型ESBLおよびCMY-2β型β-ラクタマーゼ産生大腸菌が保有するプラスミドのpMLST型. 第4回医療危機管理研究会, 千葉, 2017年2月18日.
4. 日暮芳己, 森田耕司, 佐藤智明, 奥川周, 森屋恭爾: 第三世代セフェム系抗菌薬耐性大腸菌の plasmid の pMLST 解析. 第32回日本環境感染学会総会・学術集会, 神戸, 2017年1月24-25日.

著書

1. 日暮芳己, 森田耕司: 細菌薬剤感受性試験, PK(薬物動態) / PD(薬力学) パラメータと感受性珪砂の概説. 臨床検査データブック2017-2018. 高久史磨監修, 黒川清, 春日雅人, 北村聖編. 東京, 医学書院, 2017. p. 501-503.

渡部 和彦

講演

1. 村上龍文, 三五一憲, 渡部和彦, 新見直子, 山下倫太郎, 李正花, 山村研一, 砂田芳秀: TTR型アミロイドーシスの神経障害発生機序の研究: シュワン細胞の関与について. 第57回日本神経学会学術大会, 神戸, 2016年5月18-21日.
2. 木田耕太, 清水俊夫, 木村英紀, 山崎寿洋, 上山勉, 渡部和彦, 林雅晴, 磯崎英治: Electromyographic findings of progressive muscular atrophy: Comparison with amyotrophic lateral sclerosis. 第57回日本神経学会学術大会, 神戸, 2016年5月18-21日.
3. 渡部和彦: 培養シュワン細胞の実験神経病理. 第57回日本神経病理学会総会学術研究会, 弘前, 2016年6月1-3日.
4. 石井智裕, 河上江美子, 秋山けい子, 遠藤堅太郎, 三澤日出巳, 渡部和彦: TDP-43組換えアデノウイルスによる培養ニューロン・グリア細胞内凝集体の形成過程. 第57回日本神経病理学会総会学術研究会, 弘前, 2016年6月1-3日.
5. Watabe K, Ishii T, Misawa H: Adenovirus-induced TDP-43 and FUS aggregates in cultured neuronal and glial cells demonstrated by time-lapse imaging.

46th Annual Meeting of Society for Neuroscience, USA, November 12th-15th, 2016.

論文

1. Bokuda K¹, Shimizu T¹, Imamura K¹, Kawata A¹, Watabe K, Hayashi M², Nakayama Y², Isozaki E¹, Nakano I¹ (¹Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, ²Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science): Predictive factors for prognosis following unsedated percutaneous endoscopic gastrostomy in ALS patients. *Muscle Nerve* 54(2):277-283, 2016.
2. Niimi N¹, Yako H¹, Tsukamoto M^{1,2}, Takaku S¹, Yamauchi J³, Kawakami E¹, Yanagisawa H¹, Watabe K, Utsunomiya K², Sango K¹, (¹Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, ²Jikei University School of Medicine, ³National Research Institute for Child Health and Development): Involvement of oxidative stress and impaired lysosomal degradation in amiodarone-induced schwannopathy. *Eur J Neurosci* 44(1):1723-1733, 2016.
3. Bokuda K^{1,2}, Shimizu T¹, Kimura H¹, Yamazaki T¹, Kamiyama T¹, Watabe K, Kawata A¹, Hayashi M², Isozaki E² (¹Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, ²Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science): Quantitative analysis of the features of fasciculation potentials and their relation with muscle strength in amyotrophic lateral sclerosis. *Neurol Sci* 2016 37(12):1939-1945, 2016.
4. Hayashi K¹, Mochizuki Y^{1,2}, Takeuchi R³, Shimizu T¹, Nagao M¹, Watabe K, Arai N⁴, Oyanagi K⁵, Onodera O³, Hayashi M⁴, Takahashi H³, Kakita A³, Isozaki E¹ (¹Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, ²Tokyo Metropolitan Kita Medical and Rehabilitation Center for the Disabled, ³Niigata University, ⁴Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, ⁵Shinshu University): Clinicopathological characteristics of patients with amyotrophic lateral sclerosis resulting in a totally locked-in state (communication Stage V). *Acta Neuropathol Commun* 4(1):107, 2016.

瀧上 周

講演

1. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 菅野尚子, 上春浩貴, 陳黙, 長谷川瑠美, 加藤たか子, 瀧上周, 大迫俊二, 加藤幸雄: 細胞表面抗原CD90を利用したラット下垂体前葉からのTSH産生細胞の単離. 第89回日本内分泌学会学術総会, 京都, 2016年4月20-23日.
2. 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二: ラット下垂体前葉におけるケモカインおよびケモカインレセプターの発現解析. 第57回日本組織細胞化学会総会学術集会, 東京, 2016年9月3-4日.
3. 堀口幸太郎, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 加藤たか子, 加藤幸雄: ラット下垂体前葉内TSH産生細胞における細胞表面抗原CD90の発現. 第109回日本繁殖生物学会, 相模原, 2016年9月12-14日.
4. 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二: 下垂体前葉内濾胞星状細胞で発現するケモカインCXCL10の機能解析. 第45回杏林医学会総会, 三鷹, 2016年11月19日.
5. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉内濾胞星状細胞が発現するCD抗原の探索. 第122回日本解剖学会学術総会, 長崎, 2016年3月28-30日.

論文

1. Horiguchi K, Fujiwara K¹, Tsukada T¹, Yoshida S², Higuchi M², Tateno K, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Yashiro T¹, Kato T², Kato Y²(¹Jjchi University, ²Meiji University): CXCL10/CXCR3 signaling mediates inhibitory action by interferon-Gamma on CRF-stimulated adrenocorticotrophic hormone (ACTH) release. *Cell Tissue Res.* 364(2):395-404, 2016.
2. Horiguchi K, Nakakura T¹, Yoshida S², Tsukada T³, Kanno N², Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Kato T², Kato Y²(¹Teikyo University, ²Meiji University, ³Toho University): Identification of THY1 as a novel thyrotrope marker and THY1 antibody-mediated thyrotrope isolation in the rat anterior pituitary gland. *Biochem Biophys Res Commun.* 480(2):273-279, 2016.
3. Aiso T, Takigami S, Yamaki A, Ohnishi H: ANNALS EXPRESS: Degradation of serum microRNAs during transient storage of serum samples at 4° C. *Ann Clin Biochem.* 2017. (Epub ahead of print).

八巻 明子

講演

1. 相磯聡子, 瀧上周, 八巻明子, 星野諒太, 坂下恵悟, 佐藤嘉美, 西澤裕太, 大西宏明: 血清マイクロRNAの多様な安定性. 第39回日本分子生物学会年会, 横浜, 2016年11月30日-12月2日.

論文

1. Horie S¹, Yamaki A, Takami S² (¹Kawasaki Medical School, ²Sakai Electron Microscopy Application Laboratory): Presence of sex steroid-metabolizing enzymes in the olfactory mucosa of rats. *The Anat. Rec* 300(2): 402-414, 2016.

山本 寛

講演

1. 小野川傑, 山本寛, 西村伸大, 関根名里子, 原島敬一郎, 東克己: 臨床検査学教育において「学生の考える力」をどうやって引き出すか? -初年度早期教育の場合-. 第11回日本臨床検査学教育学会学術大会. 神戸, 2016年8月31日.

新江 賢

論文

1. Takeda T¹, Unno H², Morita H², Futamura K², Emi-Sugie M², Arae K, Shoda T², Okada N², Igarashi A², Inoue E², Kitazawa H², Nakae S^{3,4}, Saito H², Matsumoto K², Matsuda A²(¹Kansai University of Health Sciences, ²National Research Institute for Child Health and Development, ³the Institute of Medical Science, the University of Tokyo, ⁴PRESTO): Platelets constitutively express IL-33 protein and modulate eosinophilic airway inflammation. *J Allergy Clin Immunol* 138(5):1395-1403, 2016.
2. 新江賢, 森田英明¹, 松本健治¹, 斎藤博久¹, 中江進²(¹成育医療研究センター研究所, ²東京大学医科学研究所): Interleukin-33とアレルギー. *アレルギー* 65(10): 1269-1276, 2016.

報告書

1. 新江賢: キチンによるアレルギー応答誘導機構の解析. 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) 2016年度 研究実施状況報告書.

伊藤 慎

論文

1. Koizume S¹, Ito S, Yoshioka Y², Kanayama T¹, Nakamura Y¹, Yoshihara M¹, Yamada R¹, Ochiya T², Ruf W³, Miyagi E⁴, Hirahara F⁴, Miyagi Y¹ (¹Molecular Pathology and Genetics Division, Kanagawa Cancer Center Research Institute, ²Division of Molecular and Cellular Medicine, National Cancer Center Research Institute, ³Department of Immunology and Microbial Science, The Scripps Research Institute, ⁴Department of Obstetrics, Gynecology and Molecular Reproductive Science, Yokohama City University Graduate School of Medicine) High-level secretion of tissue factor-rich extracellular vesicles from ovarian cancer cells mediated by filamin-A and protease-activated receptors. *Thromb Haemost.* 115(2):299-310, 2016.

大河戸 光章

講演

1. 大河戸光章: 受講スイッチをONにする工夫. 第11回日本臨床検査学教育学会学術大会, 神戸, 2016年9月1日.
2. 大河戸光章, 岡山香里: 子宮頸部におけるユニークハイリスク型HPVの感染経過. 第7回日本感染症学会北陸支部学術講演会, 金沢, 2016年12月5日.

論文

1. Okodo M, Okayama K¹, Kitamura H², Shiina N³, Caniz T³, Ono M³, Yabusaki H³ (¹Gumma Paz College, ²Medical Oncology, ³ILABO Cyto STD Laboratory): Evaluating the existence of small compressed binucleated squamous cells in ASC-H. *Asian Pac J Cancer Prev* 17: 4665-4669, 2016.
2. 岡山香里¹, 大河戸光章 (¹群馬パース大学): PVに特徴的な細胞像. *産婦人科の実際* 65:1511-1517, 2016.

村田 麻喜子

講演

1. 村田麻喜子, 渡部和彦: ヤマトヒメミミズの再生過程および生殖細胞分化におけるNanog遺伝子の関与. 第39回日本分子生物学会年会, 横浜, 2016年11月30日-12月2日.

報告書

1. 村田麻喜子: ヤマトヒメミミズにみる有性生殖と無性生殖を転換する機構とその意義の探究. 科学研究助成事業 挑戦的萌芽研究 研究成果報告書.

菰田 照子

講演

1. Komoda T, Maida S, Gen M, Sato M, Uchida A, Bannai H: Studies of isolation methods for diagnosis of *Chlamydomydia pneumoniae* infections. -Approach for establishing a standardized method-. The 32nd World Congress of Biomedical Laboratory Science, Kobe, September 1st-4th, 2016.

- 坂内久一, 菺田照子: 長期フォローアップ *C. trachomatis* 感染患者血清の抗体推移と Immune blot 像の chromatogram との関連について. 第34回日本クラミジア研究会学術集会, 東京, 2016年9月24日.
- 菺田照子, 毎田昇平, 元文綺, 坂内久一: *Chlamydia pneumoniae* に高い感受性を示すHL細胞の由来について. 第34回日本クラミジア研究会学術集会, 東京, 2016年9月24日.

西村 伸大

講演

- 武藤祐子, 町田喜代実, 富田知子, 西村伸大: 美容室でのハンドマッサージによるリラクゼーション効果の研究2. 第75回日本公衆衛生学会総会, 大阪, 2016年10月26-28日.
- 町田喜代実, 武藤祐子, 富田知子, 西村伸大: 美容室でのハンドマッサージによる自律神経系への影響について. 第23回日本末病システム学会学術総会, 福岡, 2016年11月25-6日.

その他

- 西村伸大: いちよう塾アロマセラピー基礎講座～エッセンシャルオイルを用いたリラクゼーション～, 2016年7月9日, 7月16日, 7月30日.

原島 敬一郎

講演

- 東葉里奈, 三輪隆, 高橋悟, 鈴木尚子, 佐野晃士, 末盛敦子, 奥村貴子, 久米雅彦, 原島敬一郎, 秋本孝行, 加藤紀和, 志熊淳平, 伊藤裕郎, 上道文昭, 添田仁, 林潤一, 金澤真雄, 福武勝幸, 小田原雅人: 腎症前期に止まる糖尿病患者における尿中肝型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)の意義. 第59回日本糖尿病学会年次学術集会, 京都, 2016年5月19-21日.
- 青戸依子, 岸野智則, 原島敬一郎, 司茂幸英, 石本翔, 住吉彩, 須藤恵美, 浦田毅, 関口久美子, 高城靖志, 大塚弘毅, 大瀧純一, 大西宏明, 渡邊卓: 腹部超音波検査前に朝食を摂取したときの胆嚢画像の変化. 第63回日本臨床検査医学会学術集会, 神戸, 2016年9月1-4日.
- 小林昌永, 柿崎明日香, 宮島彩, 西郷周平, 福田直也, 橋本茂樹, 関昌世, 仁隼人, 原島敬一郎, 岸野智則: 下肢arterial stiffness index (ASI) の臨床応用への可能性. 第45回杏林医学会総会, 三鷹, 2016年11月19日.
- 西郷周平, 原島敬一郎, 小林昌永, 柿崎明日香, 関昌世, 橋本茂樹, 福田直也, 宮島彩, 仁隼人, 岸野智則: 経皮的な心肺補助装置 (percutaneous cardio-pulmonary support, PCPS) における異物の発生を早期かつ簡便に検出する装置の開発を目指して. 第3回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2016年12月3日.
- 小林昌永, 原島敬一郎, 柿崎明日香, 宮島彩, 西郷周平, 橋本茂樹, 福田直也, 関昌世, 仁隼人, 岸野智則: 下肢arterial stiffness index (ASI): 新たな動脈硬化検査法としての可能性. 第3回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2016年12月3日.

堀口 幸太郎

講演

- 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 菅野尚子, 上春浩貴, 陳黙, 長谷川瑠美, 加藤たか子, 瀧上周, 大迫俊二, 加藤幸雄: 細胞表面抗原CD90を利用したラット下垂体前葉からのTSH産生細胞の単離. 第89回日本内分泌学会学術総会, 京都, 2016年4月20-23日.

- 藤原研, 塚田岳大, 堀口幸太郎, 菊地元史, Khongorzul Batchuluun, 屋代隆: 下垂体前葉の機能的組織構築と幹細胞の維持に関わる細胞間相互作用. 第89回日本内分泌学会学術総会, 京都, 2016年4月20-23日.
- 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二: ラット下垂体前葉におけるケモカインおよびケモカインレセプターの発現解析. 第57回日本組織細胞化学会総会学術集会, 三鷹, 2016年9月3-4日.
- 堀口幸太郎, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 加藤たか子, 加藤幸雄: ラット下垂体前葉内TSH産生細胞における細胞表面抗原CD90の発現. 第109回日本繁殖生物学会, 相模原, 2016年9月12-15日.
- 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二: 下垂体前葉内濾胞星状細胞で発現するケモカインCXCL10の機能解析. 第45回杏林医学会総会, 三鷹, 2016年11月19日.
- 塚田岳大, 吉田彩舟, 紀藤圭治, 藤原研, 八子英司, 堀口幸太郎, 屋代隆, 加藤たか子, 加藤幸雄: 下垂体由来株化細胞TtT/GFの分化能の検討とTGFβの関与. 第41回日本比較内分泌学会大会, 相模原, 2016年12月9-10日.
- 塚田岳大, 吉田彩舟, 紀藤圭治, 藤原研, 八子英司, 堀口幸太郎, 屋代隆, 加藤たか子, 加藤幸雄: TGFβは下垂体由来株化細胞TtT/GFをペリサイトに誘導する. 第16回日本再生医療学会総会, 仙台, 2017年3月7-8日.
- 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉内濾胞星状細胞が発現するCD抗原の探索. 第122回日本解剖学会学術総会, 長崎, 2017年3月27-30日.

論文

- Horiguchi K, Fujiwara K¹, Tsukada T², Yoshida S³, Higuchi M³, Tateno K, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Yashiro T¹, Kato T³, Kato Y³ (¹Jichi Medical University, ²Toho University, ³Meiji University): CXCL10/CXCR3 signaling mediates inhibitory action by Interferon-Gamma on CRF-stimulated adrenocorticotrophic hormone (ACTH) release. *Cell Tissue Res.* 364(2):395-404, 2016.
- Tsukada T¹, Azuma M², Horiguchi K, Fujiwara K², Kouki T², Kikuchi M², Yashiro T² (¹Toho University, ²Jichi Medical University): Folliculostellate cell interacts with pericyte via TGFβ2 in rat anterior pituitary. *J Endocrinol.* 229(2):159-170, 2016.
- Yoshida S¹, Nishimura N¹, Ueharu H¹, Nishihara H¹, Kanno N¹, Higuchi M¹, Horiguchi K, Kato T¹, Kato Y¹ (¹Meiji University): Isolation of adult pituitary stem/progenitor cell clusters located in the parenchyma of the rat anterior lobe. *Stem Cell Res.* 17(2):318-329, 2016.
- Horiguchi K*, Yako H*¹, Yoshida S¹, Fujiwara K², Tsukada T³, Kanno N¹, Ueharu H¹, Nishihara H¹, Kato T¹, Yashiro T¹, Kato Y¹ (¹Meiji University, ²Jichi Medical University, ³Toho University): S100β-positive cells of mesenchymal origin reside in the anterior lobe of the embryonic pituitary gland. *PLoS ONE* 11(10):e0163981, 2016.
*These authors contributed equally to this work.
- Syaidah R¹, Tsukada T², Azuma M¹, Horiguchi K, Fujiwara K¹, Kikuchi M¹, Yashiro T¹ (¹Jichi Medical University, ²Toho University): Fibromodulin Expression in Folliculostellate Cells and Pericytes Is Promoted by TGFβ Signaling in Rat Anterior Pituitary Gland. *Acta Histochem Cytochem.* 49(6):171-179, 2016.
- Horiguchi K, Nakakura T¹, Yoshida S², Tsukada T³,

Kanno N², Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Kato T², Kato Y²(¹Teikyo University, ²Meiji University, ³Toho University): Identification of THY1 as a novel thyrotrope marker and THY1 antibody-mediated thyrotrope isolation in the rat anterior pituitary gland. *Biochem Biophys Res Commun.* 480(2):273-279, 2016.

著 書

1. 屋代隆, 堀口幸太郎: 下垂体前葉細胞と細胞外マトリックス-マトリクラインとは? - 下垂体疾患診療マニュアル第2版. 平田結喜緒, 山田正三, 成瀬光栄編. 東京, 診断と治療社, 2016. p.258-259.

渡辺 登

講 演

1. 森田耕司, 渡辺登, 日暮芳己: *bla_{TEM}*遺伝子と*bla_{CTX-M}*遺伝子をコードする接合性Rプラスミドの伝達頻度とレプリコンタイプ. 第4回医療危機管理研究会, 千葉, 2017年2月18日.
2. 森田耕司, 日暮芳己, 渡辺登: CTX-M型ESBLおよびCMY-2β型β-ラクタマーゼ産生大腸菌が保有するプラスミドのpMLST型. 第4回医療危機管理研究会, 千葉, 2017年2月18日.

出嶋 優華

講 演

1. 出嶋靖志, 何文清, 出嶋優華: 中国貴州省における大気汚染状況と呼吸器系疾患による入院患者数との関連について. 第81回日本民族衛生学会総会, 東京, 2016年11月26-27日.

長谷川 瑠美

講 演

1. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 菅野尚子, 上春浩貴, 陳黙, 長谷川瑠美, 加藤たか子, 瀧上周, 大迫俊二, 加藤幸雄: 細胞表面抗原CD90を利用したラット下垂体前葉からのTSH産生細胞の単離. 第89回日本内分泌学会学術総会, 京都, 2016年4月20-23日.
2. 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二: ラット下垂体前葉におけるケモカインおよびケモカインレセプターの発現解析. 第57回日本組織細胞化学会総会学術集会, 東京, 2016年9月3-4日.
3. 堀口幸太郎, 中倉敬, 吉田彩舟, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 加藤たか子, 加藤幸雄: ラット下垂体前葉内TSH産生細胞における細胞表面抗原CD90の発現. 第109回日本繁殖生物学会, 相模原, 2016年9月12-14日.
4. 堀口幸太郎, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二: 下垂体前葉内濾胞星状細胞で発現するケモカインCXCL10の機能解析. 第45回杏林医学会総会, 三鷹, 2016年11月19日.
5. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 塚田岳大, 加藤たか子, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄: 下垂体前葉内濾胞星状細胞が発現するCD抗原の探索. 第122回日本解剖学会学術総会, 長崎, 2016年3月28-30日.

論 文

1. Horiguchi K, Fujiwara K¹, Tsukada T¹, Yoshida S², Higuchi M², Tateno K, Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Yashiro T¹, Kato T², Kato Y²(¹Jjchi University, ²Meiji University): CXCL10/CXCR3 signaling mediates inhibitory action by interferon-Gamma on CRF-stimulated

adrenocorticotrophic hormone (ACTH) release. *Cell Tissue Res.* 364(2):395-404, 2016.

2. Horiguchi K, Nakakura T¹, Yoshida S², Tsukada T³, Kanno N², Hasegawa R, Takigami S, Ohsako S, Kato T², Kato Y²(¹Teikyo University, ²Meiji University, ³Toho University): Identification of THY1 as a novel thyrotrope marker and THY1 antibody-mediated thyrotrope isolation in the rat anterior pituitary gland. *Biochem Biophys Res Commun.* 480(2):273-279, 2016.

上田 真樹子

講 演

1. 上田真樹子, 鎌田佳宏, 高松真二, 前川智裕, 中山小太郎純友, 種村匡弘, 江口英利, 三善英知: 慢性膵炎のバイオマーカー探索のための膵液中からのフコシル化タンパク質の同定. 第75回日本癌学会学術総会, 横浜, 2016年10月6-8日.

小原 映

講 演

1. 木下瑞貴, 細田香織, 小原映, 柴崎浩美, 横川彰朋, 石井和夫: LC-MS/MSによるヒト血漿中におけるequolとその抱合代謝物の分析法の検討. 第41回日本医用マスマスペクトル学会年会, 名古屋, 2016年9月15-16日.
2. 小原映, 木下瑞貴, 細田香織, 柴崎浩美, 横川彰朋, 石井和夫: 月経周期延長に影響するイソフラボン抱合代謝物の分析. 日本薬学会第137年会, 仙台, 2017年3月24-27日.
3. 木下瑞貴, 小原映, 細田香織, 柴崎浩美, 横川彰朋, 石井和夫: LC-MS/MSによるEquolとその光学異性体を含む抱合代謝物の分析の検討. 日本薬学会第137年会, 仙台, 2017年3月24-27日.

● 健康福祉学科 ●

金子 哲也

講 演

1. 松塚雅博, 石川友美, 関健介, 後藤恭一, 金子哲也: 環境試料水の砒素濃度と水質パラメーター フォッサマグナエリアの水質特性について. 第75回日本公衆衛生学会, 大阪, 2016年10月26日.

論 文

1. 後藤恭一, 金子哲也: 航空機騒音による健康影響. *航空環境研究* 21:59-63, 2017.

出嶋 靖志

講 演

1. 出嶋靖志, 何文清, 出嶋優華: 中国貴州省における大気汚染状況と呼吸器系疾患による入院患者数との関連について. 第81回日本民族衛生学会総会, 東京, 2015年11月26-27日.

著 書

1. 出嶋靖志: 環境と健康. 衛生学・公衆衛生学第2版第13刷. 東洋療法学校協会編. 東京, 医歯薬出版, 2016. p.71-128.
2. 出嶋靖志: 消毒法. 衛生学・公衆衛生学第2版第13刷.

東洋療法学校協会編. 東京, 医歯薬出版, 2016. p. 201-216.

3. 出嶋靖志: ダブルベースHIYAMAノート～シマンドル習得のために～15刷. 檜山ノート出版委員会編. 東京, ドレミ出版, 2016.

その他

1. 出嶋靖志: 「杏林大学大学院」, 国際協力ガイド, p. 168-169, 国際開発ジャーナル社. 2016. 10. (記事)

照屋 浩司

講演

1. 松井知子, 大嶺智子, 岡本博照, 照屋浩司, 角田透: 中学校における学校相談体制の構築 第3報教職員と心理職連携による一次予防の関わり. 第75回日本公衆衛生学会総会, 大阪, 2016年10月27日.

論文

1. 三宅英司, 八並光信, 倉林準, 照屋浩司: バドミントンの障害に関する疫学的研究. 日本臨床スポーツ医学会誌 25(2):223-231, 2017. (印刷中).
2. Ito Y, Teruya K, Kubota H, Yorozu T, Nakajima E: Factors affecting pain assessment scores in patients on mechanical ventilation. Intensive and Critical Care Nursing. 2017. (in press). DOI:10.1016/j.iccn.2017.03.001.

著書

1. 照屋浩司(編著): 最新臨床検査学講座 公衆衛生学 第1版第2刷. 東京, 医歯薬出版, 2017.
2. 照屋浩司: 身体活動, 運動. エッセンシャル社会・環境と健康 第2版第9刷. 高島豊, 櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2017. p. 114-119.
3. 照屋浩司: 喫煙行動. エッセンシャル社会・環境と健康 第2版第9刷. 高島豊, 櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2017. p. 118-125.

朝野 聡

講演

1. 朝野聡, 堀川浩之, 中野淳一: 校庭芝生化が児童の体力と傷害予防に及ぼす効果の実態. 2016年度日本芝草学会春季大会, 千葉, 2016年5月27-29日.
2. 朝野聡: 交流分析とライフスキル(全4回). 船橋市市民大学校公開講座, 船橋, 2016年8月1・20日, 10月3日.

その他

1. 朝野聡: 校庭芝生化が児童の体力と傷害予防に及ぼす効果に関する研究報告について, 滋賀県近江八幡市ウェブサイト(教育委員会), 2016年6月30日.

岡本 博照

講演

1. 神山麻由子, 岡本博照, 久保佑美子, 久米梢子, 和田貴子: 消防職員の燃え尽き度に影響を及ぼす仕事のストレス要因についての検討. 第19回日本臨床救急医学会総会, 福島, 2016年5月14日.
2. 松井知子, 大嶺智子, 岡本博照, 照屋浩司, 角田透: 中学校における学校相談体制の構築 第3報教職員と心理職連携による一次予防の関わり. 第75回日本公衆衛生学会総会, 大阪, 2016年10月26-28日.

論文

1. 久米梢子¹, 岡本博照, 久保佑美子¹, 神山麻由子¹, 和田貴子¹ (杏大・保・救急救命学科): 二次救急病院に勤

務する救急救命士有資格者に対する病院職員の評価. 日本臨床救急医学会雑誌 19(5):645-656: 2016.

著書

1. 岡本博照: エビデンスに基づく保健対策. エッセンシャル社会・環境と健康 第2版第8刷. 高島豊, 櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2016. p. 92-96.
2. 岡本博照: 飲酒行動. エッセンシャル社会・環境と健康 第2版第8刷. 高島豊, 櫻井裕編. 東京, 医歯薬出版, 2016. p. 125-129.

片桐 朝美

講演

1. 大木幸子, 片桐朝美, 古川佳子, 加藤昌代, 小松実弥: 生活保護受給世帯の若者自立支援における効果的支援技術とその構造. 第75回日本公衆衛生学会総会, 大阪, 2016年10月28日.

加藤 誠久

講演

1. Sekizawa K, Kato T, Tanabe H: Computer simulation analysis of the three-dimensional relative positioning of chromosome 21 territories in the human 21 trisomy cell nuclei. The 13th International Congress of Human Genetics (ICHG 2016), Kyoto, April 3rd-7th, 2016.
2. Sekizawa K, Kato T, Tanabe H: Interphase FISH technique using the scalp hair follicle cells: basic evaluation as a chromosomal test. The 67th Annual Meeting of the Society of Chromosome Research, Tokyo, November 3rd-4th, 2016.

下島 裕美

講演

1. 下島裕美: 死にゆく過程の疑似体験ー高齢者を支える私たちが死と人生について考えるー. 東京都高齢者福祉施設協議会平成28年度北南ブロック会介護職員研修会, 東京, 2016年7月15日.
2. Shimojima Y: The effect of individual past time perspective on ratings of past, present, and future episodic self-related events. The 31st International Congress of Psychology, Yokohama, July 27th, 2016.
3. Arima A, Shimojima Y, Takeshita M: What does PTA (Parent-Teacher Association) mean for women?: The involvement types in PTA activities. The 31st International Congress of Psychology, Yokohama, July, 28th, 2016.
4. 下島裕美, 蒲生忍: 日常生活にちょっと役立つポジティブ心理学. 杏林大学CCRC研究所連続講座, 三鷹, 2016年9月9日, 23日, 10月14日, 28日.
5. 下島裕美, 蒲生忍: 日常生活にちょっと役立つポジティブ心理学(第2回). 杏林大学CCRC研究所連続講座, 三鷹, 2016年11月4日, 18日, 12月2日, 16日.
6. 蒲生忍, 下島裕美: はじめての死生学. 杏林大学CCRC研究所連続講座, 三鷹, 2016年11月4日, 18日, 12月2日, 16日.
7. 下島裕美, 大家まゆみ, 飯高晶子: 地域で取り組むインクルーシブ教育ー自尊感情をはぐくむにはー. 杏林大学CCRC研究所セミナー, 三鷹, 2016年11月16日.

8. 蒲生忍, 下島裕美: ポッチャ体験会. 杏林大学CCRC研究所セミナー, 三鷹, 2017年3月3日.

論文

1. 下島裕美, 佐藤浩一¹, 越智啓太² (¹群馬大, ²法政大): 日本版Zimbaro Time Perspective Inventory(ZTPI)の構成概念妥当性の検討. 杏林大学研究報告教養部門 34: 35-44, 2017.
2. 下島裕美, 大家まゆみ¹, 飯高晶子² (¹東京女子大, ²東京理科大): 児童のソーシャル・スキルを育む道徳の指導法—教職実践演習で学ぶ学校・保護者・地域と大学の連携—. 杏林教職課程年報 3: 75-82, 2017.
3. 下島裕美, 大家まゆみ¹ (¹東京女子大): 情緒固定学級(自閉症・情緒障害)の発達障害児の教育的支援—具体物を用いてくり上がりのあるたしざんを指導する—. 杏林教職課程年報 3: 65-73, 2017.
4. 下島裕美, 大家まゆみ¹, 藤井勉² (¹東京女子大, ²長崎大): DSM-5の診断基準改定と教職課程における特別支援教育. 杏林教職課程年報 3: 57-64, 2017.
5. 下島裕美, 大家まゆみ¹, 飯高晶子² (¹東京女子大, ²東京理科大): 地域で取り組むインクルーシブ教育—自尊心感情をはぐくむには—. 杏林CCRC研究所紀要 3: 14-22, 2017.
6. 有馬明恵¹, 下島裕美, 竹下美穂¹ (¹東京女子大): PTA活動に対する母親たちの態度の多様性. 東京女子大学紀要「論集」 67: 209-230, 2017.

古川 佳子

講演

1. Akimoto M, Furukawa K, Ito J, Kubota Y: A Single Case NIRS (near-infrared spectroscopy) Study on the Client-Therapist Relationship in Sandplay Therapy. The 31st International Congress of Psychology, Yokohama, July 24th-29th, 2016.
2. 秋本倫子, 古川佳子, 伊藤淳子, 久保田泰考: 箱庭療法における脳活動の計測—NIRS(近赤外分光法)による関係性の探究—. 日本心理臨床学会第35回秋季大会, 横浜, 2016年9月4-7日.
3. 秋本倫子, 伊藤淳子, 古川佳子: 脳から見た箱庭療法—セラピストのスタイルとクライアント—セラピスト相互作用—. 日本箱庭療法学会第30回大会, 大阪狭山, 2016年10月15-16日.
4. 大木幸子, 片桐朝美, 古川佳子, 加藤昌代, 小松実弥: 生活保護受給世帯の若者自立支援における効果的支援技術とその構造. 日本公衆衛生学会第75回総会, 大阪, 2016年10月26-28日.

松井 知子

講演

1. 松井知子: 健康と幸福を考える—幸せなキャリアづくりと健康について—. 第100回健康管理研究協議会例会, 東京, 2016年6月4日.
2. 松井知子, 松島尚子: メンタルヘルス(社内研修の進め方)~援助になる! 相談面接のコツ. 東京産業保健総合支援センター, 東京, 2016年7月15日.
3. 松井知子: ストレスの基礎理解とストレスマネジメント. 東京都立葛飾盲学校メンタルヘルスセミナー, 東京, 2016年7月22日.
4. 松井知子: ストレスの基礎理解とストレスマネジメント(リラクゼーション). 東京都立多摩桜の丘学園教職員・職種別セミナー, 多摩, 2016年8月26日.

5. 松井知子: ストレスの基礎理解とストレスマネジメント(リラクゼーション). 東京都立八王子盲学校教職員セミナー, 八王子, 2016年8月29日.
6. 松井知子: ストレスの基礎理解とストレスマネジメント(リラクゼーション). 町田市立山崎中学校教職員メンタルセミナー, 町田, 2016年8月30日.
7. 松井知子: 特別支援に関する研修 LGBT 特に性同一性障害. 武蔵野市立第五中学校, 武蔵野, 2016年8月31日.
8. 松井知子: 厚生労働行政と産業・組織心理臨床との関わり. 2016年度一般社団法人 日本臨床心理士会臨床心理講座 産業・組織心理臨床基礎研修, 東京, 2016年9月11日.
9. 松井知子: 教職員へのメンタルヘルス支援—SCのできるこ—. 2016年度一般社団法人 日本臨床心理士会, 福島県臨床心理士会研修会, 福島, 2016年9月25日.
10. 松井知子, 大嶺智子, 岡本博照, 照屋浩司, 角田透: 中学校における学校相談体制の構築について—第3報教職員と心理職連携による一次予防への関わりから—. 第75回日本公衆衛生学会, 大阪, 2016年10月27日.
11. 松井知子: 事業場メンタルヘルス担当者のための研修. 東京産業保健総合支援センター, 東京, 2016年10月24日.
12. 松井知子, 松島尚子: メンタルヘルス(社内研修の進め方)~援助になる! 相談面接のコツ. 東京産業保健総合支援センター, 東京, 2017年1月13日.
13. 松井知子: メンタルヘルスの基礎理解とストレスマネジメント~ストレスへの対処法を知る~. 社会法人至誠学舎新採研修メンタルセミナー, 東京, 2017年3月2日.

論文

1. 松井知子: 第100回健康管理研究協議会例会, 「幸せなキャリアづくりと健康について」 「幸福と健康を考える」 ディスカッション. 健康管理 749: 21-31, 2016.

著書

1. 松井知子(分担執筆): 衛生学・公衆衛生学領域における心理臨床の展開/「組織のメンタルヘルス体制作り」と「再就職支援」の最前線—現場からのモデルづくり, ビジョン作りをめぐって— 司会の挨拶. 心理職の組織への関わり方 産業心理臨床モデルの構築に向けて. 新田泰生, 足立智明編著. 東京, 誠信書房, 2016. p. 63-71 / p. 92-94.

荻津 真理子

講演

1. 亀崎路子, 荻津真理子: 小・中学生における傷病の表現行動と養護教諭の対応に関する予備的調査. 日本学校保健学会第63回学術集会, つくば, 2016年11月19日.
2. 荻津真理子, 関健介: 中学校・高等学校における運動部所有の救急箱に関する実態調査. 日本学校救急看護学会第11回学術集会, 東京, 2016年12月17日.
3. 妻鹿智晃, 工藤宣子, 稲垣尚美, 宇田川和子, 荻津真理子, 西連寺江里子, 鈴木みゆき, 砂村京子, 山田夕美子: 学校管理下で負傷した子どもを医療機関に受診させる際の対応モデルの構築—養護教諭の対応事例から—. 日本学校救急看護学会第11回学術集会, 東京, 2016年12月17日.

論文

1. 工藤宣子¹, 稲垣尚美², 宇田川和子³, 荻津真理子, 西連寺江里子⁴, 鈴木みゆき⁵, 砂村京子⁶, 妻鹿智晃⁶, 山田夕美子⁷ (¹千葉大学, ²湘南医療大学, ³千葉県立柏高等学校, ⁴茨城県筑西市立明野中学校, ⁵養護実践研究センター, ⁶東京医療保健大学, ⁷千葉県四街道市立四街道中学校): 学校管理下で負傷した子どもを医療機関に受診させる際の対応モデルの構築—養護教諭の対応事例から—. 学校救急看護研究 10(1): 51-54, 2016.

関澤 浩一

講演

1. Sekizawa K, Kato T, Tanabe H: Computer simulation analysis of the three-dimensional relative positioning of chromosome 21 territories in the human 21 trisomy cell nuclei. The 13th International Congress of Human Genetics (ICHG 2016), Kyoto, April 3rd-7th, 2016.
2. Sekizawa K, Hiraoka A, Shirao M: Suppressive Effects by Antioxidants on Bleomycin-Induced Chromosome Aberrations in Cultured Human Lymphocyte Cells. The 26th Symposium on Role of Metals in Biological Reactions, Biology and Medicine (SRM2016), Sapporo, June 17th-18th, 2016.
3. Sekizawa K, Kato T, Tanabe H: Interphase FISH technique using the scalp hair follicle cells: basic evaluation as a chromosomal test. The 67th Annual Meeting of the Society of Chromosome Research, Tokyo, November 3rd-4th, 2016.
4. 平岡厚, 関澤浩一, 長嶋潜, 近藤浩文: C-F結合を持つ有機化合物を投与された細胞中Fのイオンクロマトグラフィーによる定量. 第27回クロマトグラフィー科学会議, 東京, 2016年11月16-18日.

平澤 愛

講演

1. 平澤愛, 小柴ひとみ, 宮澤太機, 永井久美子, 柴田茂貴, 神崎恒一: 高齢者におけるフレイルが脳血流動態に及ぼす影響. 第58回日本老年医学会学術集会, 金沢, 2016年6月8-10日.
2. Ogoh S, Hirasawa A, Washio T, Sasaki H, Bailey D.M, Sato, K: Internal and external carotid artery blood flow during resistance exercise. The 21th Annual Congress of the European College of Sport Science, Austria, July 6th-9th, 2016.
3. Hirasawa A, Shibata A, Miyazawa M, Nagai K, Koshiba H, Kozaki K: The Relationship between Cerebrovascular Hemodynamics Estimated by Transcranial Doppler Ultrasound and Pathogenesis of Alzheimer's Disease. 10th Congress of the Asian-Pacific Society of Atherosclerosis and Vascular Disease, Tokyo, July 14th-15th, 2016.
4. Nagai K, Hirasawa A, Miyazawa T, Koshiba H, Shibata S, Kozaki K: Relationship between Cerebral Hemodynamics and the Severity of Cerebral White Matter Hyperintensities among the Elderly Patient with Memory Disorder. 10th Congress of the Asian-Pacific Society of Atherosclerosis and Vascular Disease, Tokyo, July 14th-15th, 2016.
5. 佐藤耕平, 芝崎学, 平澤愛, 定本朋子, 小河繁彦: 暑熱負荷に対するWillis動脈輪の血流応答. 第71回日本体育学会大会, 盛岡, 2016年9月23-25日.
6. Hirabuki K, Suda T, Hata N, Sano Y, Uechi T, Miyauchi H, Tsukada T, Hirasawa A, Matsuda T, Shibata S: Reproducibility of left ventricular volumes and function measured with three-dimensional speckle tracking echocardiography. International Sports Science Network Forum in Nagano, Matsumoto, November 9th-11th, 2016.
7. Uechi T, Hirabuki K, Suda T, Hata N, Sano Y, Miyauchi H, Tsukada T, Hirasawa A, Matsuda T, Shibata S: Influence of atmospheric temperature on

neurological mortality after out-of-hospital cardiac arrest. International Sports Science Network Forum in Nagano, Matsumoto, November 9th-11th, 2016.

8. Suda T, Hirabuki K, Hata N, Sano Y, Uechi T, Miyauchi H, Tsukada T, Hirasawa A, Matsuda T, Shibata S: Comparison of left ventricular myocardial strain and twist in athletes versus non-athletes using 3D speckle tracking echocardiography. International Sports Science Network Forum in Nagano, Matsumoto, November 9th-11th, 2016.

論文

1. Ogoh S¹, Sørensen H², Hirasawa A³, Sasaki H¹, Washio T¹, Hashimoto T⁴, Bailey DM⁵, Secher NH² (¹Toyo University, ²University of Copenhagen, ³Kyorin University, ⁴Ritsumeikan University, ⁵University of South Wales): Dynamic cerebral autoregulation is unrelated to decrease in external carotid artery blood flow during acute hypotension in healthy young men. *Exp Physiol.* 101(8):1040-1049, 2016.
2. Hirasawa A¹, Sato K², Yoneya M², Sadamoto T², Bailey DM³, Ogoh S⁴ (¹Kyorin University, ²Japan Women's college of Physical Education, ³University of South Wales, ⁴Toyo University): Heterogeneous Regulation of Brain Blood Flow during Low-Intensity Resistance Exercise. *Med Sci Sports Exerc* 48(9):1829-1834, 2016.
3. Sasaki H¹, Hirasawa A², Washio T¹, Ogoh S¹ (¹Toyo University, ²Kyorin University): Acute effect of coffee drinking on dynamic cerebral autoregulation. *Eur J Appl Physiol* 116(5):879-884, 2016.
4. Lund A¹, Secher NH², Hirasawa A³, Ogoh S⁴, Hashimoto T⁵, Schytz HW², Ashina M², Sørensen H² (¹Department of Neuroanaesthesia, ²University of Copenhagen, ³Kyorin University, ⁴Toyo University, ⁵Ritsumeikan University): Ultrasound tagged near infrared spectroscopy does not detect hyperventilation-induced reduction in cerebral blood flow. *Scand J Clin Lab Invest* 76(1):82-87, 2016.
5. Hirasawa A¹, Kaneko T², Tanaka N², Funane T³, Kiguchi M³, Sørensen H⁴, Secher NH⁴, Ogoh S² (¹Kyorin University, ²Toyo University, ³Hitachi, Ltd, ⁴University of Copenhagen): Near-infrared spectroscopy determined cerebral oxygenation with eliminated skin blood flow in young males. *J Clin Monit Comput* 30(2):243-250, 2016.

井上 敦

講演

1. 井上敦: 関係的発想からのケア論ーケアし合う存在としての人間ー. 日本ソーシャルワーク学会第33回大会, 京都, 2016年7月9-10日.

論文

1. 井上敦: 対話についての方法的考察. 杏林大学研究報告 教養部門 34: 25-35, 2017.
2. 古本泰之, 井上晶子, 井上敦他: 災害に備えるまちづくりー弱者対応の視点からー. 杏林CCRC研究所紀要 3:28-60, 2017.

● 救急救命学科 ●

川村 治子

講演

1. 川村治子：転倒・転落事故防止の考え方と具体策．第4回鹿児島セーフティーマネジメント研究会特別講演，鹿児島，2016年6月25日．
2. 川村治子：医療安全．よみうりランド慶友病院講演会，稲城，2016年10月4日．
3. 川村治子：転倒・転落事故防止の考え方と具体策．第10回三鷹市医師会医療安全講演会，三鷹，2016年11月1日．
4. 川村治子：医療安全．青梅慶友病院講演会，青梅，2016年12月6日．
5. 川村治子：看護を安全に提供するために～事例から学ぶ～．横須賀市立看護専門学校卒業特別講演，横須賀，2017年3月1日．
6. 川村治子：医療安全．横須賀共済病院講演会，横須賀，2017年3月11日．

著書

1. 川村治子：交通事故と転倒・転落の死亡率の年次推移．転倒予防白書2016．武藤芳照，鈴木みずえ，原田敦編．東京，日本医事新報社，2016．p.15-22．
2. 川村治子：東京消防庁管内の救急搬送データからみる日常生活における転倒・転落事故の実態．転倒予防白書2016．武藤芳照，鈴木みずえ，原田敦編．東京，日本医事新報社，2016．p.23-26．

阪本 奈美子

講演

1. 阿部和巳，千田晋治，久米梢子，久保佑美子，神山麻由子，阪本奈美子，小泉健雄，和田貴子：応急手当実施率向上のための一方策(救命講習率を向上させる方策について)．第19回日本臨床救急医学会総会，福島，2016年5月14日．

著書

1. Sakamoto N: Postmortem Computed Tomography Angiography Using Cardiopulmonary Resuscitation Technique: Contrast Media Injection with Chest Compression Immediately After Death. Atlas of Postmortem Angiography. Silke Grabherr, Jochen M. Grimm, Axel Heinemann editors. Springer, 2016. p.121-130.

和田 貴子

講演

1. 長谷川範幸，齋藤兄治，花田裕之，町田光司，齋藤陽子，和田貴子：多職種合同の研究会開催の試み．青森県死後画像検討会．第19回日本臨床救急医学会総会，福島，2016年5月14日．
2. 阿部和巳，千田晋治，久米梢子，久保佑美子，神山麻由子，阪本奈美子，小泉健雄，和田貴子：応急手当実施率向上のための一方策(救命講習率を向上させる方策について)．第19回日本臨床救急医学会総会，福島，2016年5月14日．
3. 神山麻由子，岡本博照，久保佑美子，久米梢子，和田貴子：消防職員の燃え尽き度に影響を及ぼす仕事のストレス要因についての検討．第19回日本臨床救急医学会総会，福島，2016年5月14日．

論文

1. 久米梢子，岡本博照¹，久保佑美子，神山麻由子，和田貴

子¹(杏林大・保・健康福祉学科)：二次救急病院に勤務する救急救命士有資格者に対する病院職員の評価．日本臨床救急医学会雑誌 19(5):645-656, 2016.

山田 賢治

講演

1. 吉澤貴弘，山田賢治，関谷繁樹，野村英介，佐藤文香：橈骨遠位端骨折のDorsal tiltの整復に影響を与える因子の検討．第59回日本手外科学会学術集会，広島，2016年4月21日．
2. 大橋邦康，樽井武彦，海田賢彦，山田賢治，山口芳裕：3次救急搬送された着衣着火の検討．第19回日本臨床救急医学会総会・学術集会，郡山，2016年5月13日．
3. 加藤聡一郎，海田賢彦，庄司高裕，宮内洋，樽井武彦，山田賢治，山口芳裕：小型飛行機墜落事故対応から考える災害時熱傷診療体制のあり方．第42回日本熱傷学会総会・学術集会，東京，2016年6月3日．
4. 吉澤貴弘，関谷繁樹，山田賢治，佐藤文香：中手骨頭開放骨折による外傷性骨軟骨欠損にモザイクプラスティーを行った1例．第31回東日本手外科学会，札幌，2017年2月11日．

論文

1. 野村英介¹，吉澤貴弘¹，佐藤文香¹，高見澤由紀¹，山本邦彦¹，山田賢治，関谷繁樹¹(¹赤心堂病院整形外科)：有鉤骨骨折を伴った尺側CM関節脱臼骨折の4例．埼玉県医学会雑誌 51:201-206, 2016.
2. 宮国泰彦，山田賢治，守永広征，大田原正幸，加藤聡一郎，庄司高裕，海田賢彦，玉田尚，宮内洋，樽井武彦，稲葉雄亮¹，土屋博司¹，窪田博¹，山口芳裕(¹杏林大・医・心臓血管外科)：墜落外傷による左心房破裂の1救命例．日本外傷学会雑誌 31:36-40, 2017.
3. 吉澤貴弘¹，山田賢治，関谷繁樹¹，野村英介¹，佐藤文香¹(¹赤心堂病院整形外科)：橈骨遠位端骨折のDorsal tiltの整復に影響を与える因子の検討．日本手外科学会雑誌 33:940-946, 2017.

千田 晋治

講演

1. 阿部和巳，千田晋治，久米梢子，久保佑美子，神山麻由子，阪本奈美子，小泉健雄，和田貴子：応急手当実施率向上のための一方策(救命講習率を向上させる方策について)．第19回日本臨床救急医学会総会，福島，2016年5月14日．

阿部 和巳

講演

1. 阿部和巳，千田晋治，久米梢子，久保佑美子，神山麻由子，阪本奈美子，小泉健雄，和田貴子：応急手当実施率向上のための一方策(救命講習率を向上させる方策について)．第19回日本臨床救急医学会総会，福島，2016年5月14日．

神山 麻由子

講演

1. 阿部和巳，千田晋治，久米梢子，久保佑美子，神山麻由子，阪本奈美子，小泉健雄，和田貴子：応急手当実施率向上のための一方策(救命講習率を向上させる方策について)．第19回日本臨床救急医学会総会，福島，2016年5月14日．

2. 神山麻由子, 岡本博照, 久保佑美子, 久米梢子, 和田貴子: 消防職員の燃え尽き度に影響を及ぼす仕事のストレス要因についての検討. 第19回日本臨床救急医学会総会, 福島, 2016年5月14日.

論文

1. 久米梢子, 岡本博照¹, 久保佑美子, 神山麻由子, 和田貴子 (¹杏林大・保・健康福祉学科): 二次救急病院に勤務する救急救命士有資格者に対する病院職員の評価. 日本臨床救急医学会雑誌 19(5):645-656, 2016.

久保 佑美子

講演

1. 阿部和巳, 千田晋治, 久米梢子, 久保佑美子, 神山麻由子, 阪本奈美子, 小泉健雄, 和田貴子: 応急手当実施率向上のための方策(救命講習率を向上させる方策について). 第19回日本臨床救急医学会総会, 福島, 2016年5月14日.
2. 神山麻由子, 岡本博照, 久保佑美子, 久米梢子, 和田貴子: 消防職員の燃え尽き度に影響を及ぼす仕事のストレス要因についての検討. 第19回日本臨床救急医学会総会, 福島, 2016年5月14日.

論文

1. 久米梢子, 岡本博照¹, 久保佑美子, 神山麻由子, 和田貴子 (¹杏林大・保・健康福祉学科): 二次救急病院に勤務する救急救命士有資格者に対する病院職員の評価. 日本臨床救急医学会雑誌 19(5):645-656, 2016.

久米 梢子

講演

1. 阿部和巳, 千田晋治, 久米梢子, 久保佑美子, 神山麻由子, 阪本奈美子, 小泉健雄, 和田貴子: 応急手当実施率向上のための方策(救命講習率を向上させる方策について). 第19回日本臨床救急医学会総会, 福島, 2016年5月14日.
2. 神山麻由子, 岡本博照, 久保佑美子, 久米梢子, 和田貴子: 消防職員の燃え尽き度に影響を及ぼす仕事のストレス要因についての検討. 第19回日本臨床救急医学会総会, 福島, 2016年5月14日.

論文

1. 久米梢子, 岡本博照¹, 久保佑美子, 神山麻由子, 和田貴子 (¹杏林大・保・健康福祉学科): 二次救急病院に勤務する救急救命士有資格者に対する病院職員の評価. 日本臨床救急医学会雑誌 19(5):645-656, 2016.

● 看護学科・看護学専攻 ●

基礎・在宅看護学研究室

講演

1. Kurokawa T, Tsuchiya Y, Harada S, Shibasaki M, Fujio Y, Ogawa N, Minotani S: The Examination of The "Positive Characteristics" of Elderly Individuals Living with Other in Rural Areas. The 3rd Japan-Korea Joint Conference on Community Health Nursing, Korea, July 2nd-3rd, 2016.
2. 山本君子, 佐藤智子, 佐藤ユキ子, 太田淳子, 平川美和子, 清水典子: 認知症講座受講の有無による介護負担感への影響. 日本ケアマネジメント学会第15回研究大会, 北九州, 2016年6月17-19日.
3. 金子多喜子: 平成28年度新人看護職員研修ガイドライン

に基づく研修「教育担当者研修」, 茨城, 2016年7月26-27日.

4. 金子多喜子, 森田展彰, 大谷保和, 斎藤環, 伊藤まゆみ, 関谷大輝: 看護師版感情対処傾向尺度作成の試み. 日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会第18回大会, 越谷, 2016年9月24-25日.
5. 石山寿子, 横山雄士, 大西由夏, 柴崎美紀, 小野亜紀子, 佐野淳也: 地産地消を目指した多職種による新しい食支援活動「いただきますの会」調理実習会からの分析と課題. 第22回摂食嚥下リハビリテーション学会, 新潟, 2016年9月23-24日.
6. 布田和恵: 平成28年度介護福祉士受験準備講座こころとからだのしくみ. 横浜市福祉サービス協会, 横浜, 2016年10月11日.
7. 土屋陽子, 黒川佳子, 美ノ谷新子, 藤尾祐子, 小川典子, 柴崎美紀, 原田静香: 地方在住の独居高齢者が持つ“強み”の評価—日常生活を営む中での行為と自尊感情—. 第75回日本公衆衛生学会総会, 大阪, 2016年10月26-28日.
8. 須田知宏, 柴崎美紀, 森安東光, 原田静香, 美ノ谷新子, 土屋陽子, 黒川佳子, 小川典子, 藤尾祐子: 都市在住の独居高齢者が持つ“強み”の評価—日常生活についての自作質問からの検討—. 第75回日本公衆衛生学会総会, 大阪, 2016年10月26-28日.
9. 柴崎美紀, 須田知宏, 森安東光, 原田静香, 美ノ谷新子, 土屋陽子, 黒川佳子, 小川典子, 藤尾祐子: 都市在住の独居高齢者が持つ“強み”の評価—基本属性と自尊感情からの検討—. 第75回日本公衆衛生学会総会, 大阪, 2016年10月26-28日.
10. 金子多喜子: 平成28年度新人看護職員教育担当者研修, 東京, 2016年11月10-11日.
11. 金子多喜子, 伊藤まゆみ, 齊藤茂子, 荒添美紀, 天野雅美: 看護師の感情対処傾向を職務ストレスとの関連. 日本看護科学学会第36回学術集会, 東京, 2016年12月10-11日.
12. 伊藤まゆみ, 金子多喜子, 大場良子, 藤塚未奈子: 終末期ケアに携わる看護師のストレスに起因したポジティブな変化がバーンアウトに及ぼす影響. 日本看護科学学会第36回学術集会, 東京, 2016年12月10-11日.
13. 加治美幸, 眞鍋知子: 看護学実習中に受け持ち患者と死別した学生の感情と支援因子. 第36回日本看護科学学会学術集会, 東京, 2016年12月10-11日.
14. 柴崎美紀: 手をつなごうチームの輪と家族の笑顔. いただきますの会 第4回公開セミナー, 東京, 2017年1月29日.
15. 柴崎美紀, 原田静香, 黒川佳子, 土屋陽子, 小川典子, 美ノ谷新子: 都市部在住の高齢者の食行動に影響を与えている要因の検討. 日本静脈経腸栄養学会 第32回日本静脈経腸栄養学会, 岡山, 2017年2月23-24日.

論文

1. 山本君子, 竹内孝仁¹, 井上善行¹, 佐藤智子, 佐藤ユキ子², 天野雅美³ (¹国際医療福祉大学大学院, ²杏林大・保健・成人老年看護学, ³東京医科大学): 介護職の“その人らしさ”の捉え方に関する調査. 自立支援介護学 9(2):120-127, 2016.
2. 山本君子, 竹内孝仁¹, 井上善行¹, 佐藤智子, 佐藤ユキ子², 天野雅美³ (¹国際医療福祉大学大学院, ²杏林大・保健・成人老年看護学, ³東京医科大学): 介護職が捉える“その人らしさ”の概念構成. 自立支援介護学 10(1):6-15, 2016.
3. 柴崎美紀: 地域における栄養サポートチームの連携構造と発展要件. 杏林医学会誌 47(2): 91-112, 2016.
4. 柴崎美紀: 地域で取り組む栄養管理と看護師の役割. 看

- 護技術 62(10): 61-66, 2016.
5. Kurokawa Y¹, Tsuchiya Y¹, Fujio Y¹, Harada S¹, Shibasaki M, Ogawa N¹, Minotani S¹(¹Juntendo University): Actual Situation of the Strengths of Elderly Community Residents Living Alone. *Asian J Human Services* 11: 86-97, 2016.
 6. 原田静香¹, 美ノ谷新子¹, 柴崎美紀, 丸山美知子², 山口豊子³, 宮近郁子⁴, 入野豊⁵, 森本喜代美⁶, 米澤純子⁷(¹順天堂大, ²淑徳大学, ³滋賀県健康づくり財団, ⁴東京都看護協会, ⁵大森山王居宅介護支援事業所, ⁶園田学園女子大学, ⁷東京家政大学): 在宅終末期がん患者のケアマネジメントに関する介護支援専門員の認識—介護支援専門員の属性による差に焦点をあてて—. *日本プライマリ・ケア連合学会誌* 39(4): 219-226, 2016.
 7. 地域交流委員会(石井博之¹, 太田ひろみ¹, 柴崎美紀, 千田晋治¹, 岡村裕², 八木橋宏勇³(¹杏林大・保健学部, ²杏林大・総合政策学部, ³杏林大・外国語学部)): 杏林CCRC構想における地域活動. *杏林CCRC研究所紀要* 3:105-115, 2017.
 8. 金子多喜子, 荒添美紀¹, 天野雅美², 齊藤茂子³(¹東京工科大学, ²東京医科大学, ³元東京工科大学): 社会人経験のある新卒看護師の早期退職までの心理的变化過程. *看護教育研究学会誌* 8(1):3-13, 2016.
 9. 荒添美紀¹, 天野雅美², 齊藤茂子³, 金子多喜子(¹東京工科大学, ²東京医科大学, ³元東京工科大学): 中堅看護師の職場で求められている能力. *看護教育研究学会誌* 8(2):3-12, 2016.
 10. 布田和恵: 介護福祉士養成施設学生における不安に関する考察—医療的ケア基本研修を通して—. *介護福祉教育学会誌* 21(2):20-34, 2016.
- 著書**
1. 山本君子: 高齢者看護技術 高齢者の排泄ケア～準備～. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/436>.
 2. 山本君子: 高齢者看護技術 高齢者の排泄ケア～陰部洗浄～. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/437>.
 3. 山本君子: 高齢者看護技術 高齢者の排泄ケア～おむつ交換～. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/443>.
 4. 山本君子: 高齢者看護技術 高齢者の義歯の取り扱い. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/434>.
 5. 山本君子: 高齢者看護技術 高齢者の誤嚥予防(車いすでの食事介助). *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/433>.
 6. 山本君子: 高齢者看護技術 高齢者への癒やしケア(タッチケア). *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/440>.
 7. 山本君子: 死亡時のケアに関する技術 エンゼルケアにおける「口腔内ケア」. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/439>.
 8. 山本君子: 死亡時のケアに関する技術 エンゼルメイク. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/441>.
 9. 山本君子: 死亡時のケアに関する技術 エンゼルケアにおける「着衣とクーリング」. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/438>.
 10. 山本君子: 与薬の技術 筋肉注射(上腕部)～準備～. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/399>.
 11. 山本君子: 与薬の技術 筋肉注射(上腕部)～実施～. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/400>.
 12. 佐藤智子: 食事援助技術 食事援助. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/428>.
 13. 佐藤智子: 清潔・衣生活活動援助 シャワー浴の介助. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/427>.
 14. 加治美幸: 与薬の技術 外用薬の与薬 (1)軟膏の塗布・湿布の貼付. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/403>.
 15. 加治美幸: 与薬の技術 外用薬の与薬 (2)点眼・点入の実施方法. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/404>.
 16. 加治美幸: 与薬の技術 外用薬の与薬 (3)点鼻の実施方法. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/405>.
 17. 加治美幸: 与薬の技術 外用薬の与薬 (4)点耳の実施方法. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/406>.
 18. 加治美幸: 与薬の技術 外用薬の与薬 (5)直腸内与薬(座薬). 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/408>.
 19. 加治美幸: 与薬の技術 外用薬の与薬 (6)経口与薬. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/407>.
 20. 加治美幸: 与薬の技術 薬剤管理 (5)薬剤の管理方法. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/413>.
 21. 加治美幸: 与薬の技術 薬剤管理 (6)薬剤アレルギー発症時の対応. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/414>.
 22. 加治美幸: 与薬の技術 輸血 (1)輸血の管理方法. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/mv/72/>.
 23. 加治美幸: 与薬の技術 輸血 (2)輸血の実施方法～副作用. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/430>.
 24. 太田淳子: 高齢者看護技術 関節の拘縮予防訓練(高齢者向け). 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/435>.
 25. 市川砂織: 胃ろう(PEG)・腸ろう 胃ろう・腸ろうの設置～栄養剤注入. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/425>.
 26. 市川砂織: 胃ろう(PEG)・腸ろう 胃ろう・腸ろうのカテーテル管理. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/426>.
 27. 市川砂織: 薬剤管理 毒薬・劇薬・麻薬の管理. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/409>.
 28. 市川砂織: 薬剤管理 麻薬投与管理(持続皮下注射). 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/410>.
 29. 市川砂織: 薬剤管理 麻薬の投与中の観察. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/411>.
 30. 市川砂織: 薬剤管理 抗がん剤の管理・取り扱い. 山本君子監修. *Web, 看護roo!*, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/412>.
 31. 法橋尚宏, 山本君子他: ラ・スパ過去問対策2017 第105回看護師国家試験問題 解説書 第4巻. 東京. 医学評論社, 2016. p.8, 10, 14, 15, 90.
 32. 山本君子他: プチナース Vol.25. No.11 10月号 ヘン

ダーソンの看護過程 ゴードンの看護過程. 東京, 照林社, 2016.

33. 金子多喜子: 高尿酸血症. 疾患別看護過程の展開 第5版. 山口瑞穂子, 関口恵子監修. 東京, 学研, 2016. p. 425-437.
34. 加治美幸, 石塚睦子: 実習に強くなる! 看護技術ビジュアルガイド(第2回)安全・転倒予防と環境整備. クリニカルスタディ Vol. 37 No. 5. 柴田一郎. 東京, メヂカルフレンド社, 2016. p. 33-40.
35. 加治美幸, 石塚睦子: 実習に強くなる! 看護技術ビジュアルガイド(第4回)便秘傾向の患者さんへの腹部温罨法と食事の工夫. クリニカルスタディ Vol. 37 No. 8. 柴田一郎. 東京, メヂカルフレンド社, 2016. p. 34-41.
36. 山本君子, 小池妙子, 平川美和子, 太田淳子他: 看護学入門11巻 老年看護. 東京, メヂカルフレンド社, 2016. p. 53-76.
37. 布田和恵: 介護の基本, 障害の理解. 第29回をあてるTAC直前予想 介護福祉士.TAC介護福祉士受験対策研究会. 東京, TAC出版, 2016. 頻出論点解説21-24, 36-38, 予想問題各8-12, 33-35, 解答解説11-18, 48-52, 76-83, 113-117.
38. 布田和恵: ころとからだのしくみ分担執筆. 2016年度介護福祉士全国統一模擬試験(第1回・第2回). 介護福祉士国家試験対策研究会編. 東京, 中央法規オンラインショップe-books, 2016.

報告書

1. 柴崎美紀: 市民と多職種で地域包括ケアを考える参加型ワークショップ「たまケアLive」の企画と運営, 平成27年度 地(知)の拠点整備事業成果報告書, 35, 2016.

成人・高齢者看護学研究室

講演

1. 山本君子, 佐藤智子, 佐藤ユキ子, 太田淳子, 平川美和子, 清水典子: 認知症講座受講の有無による介護負担感への影響. 日本ケアマネジメント学会第15回研究大会, 北九州, 2016年6月18-19日.
2. 伊藤有美: 重症患者の栄養管理. 2016年度ICU・CCU看護教育セミナー(初級コース), 福岡, 2016年7月7-9日.
3. 伊藤有美: Module 2 疼痛管理, ELNEC-J クリティカルケアアカリキュラム指導者養成プログラム, 京都, 2016年8月6-7日.
4. 百々典子: 学生の実習のレディネスを把握するための方法と観点—看護系大学の教員が実習前に行うことに焦点を当てて—. 第26回日本看護教育学会学術集会, 東京, 2016年8月22-23日.
5. 伊藤有美: 重症患者の栄養管理. 2016年度ICU・CCU看護教育セミナー(初級コース), 東京, 2016年9月1-3日.
6. 伊藤有美: ELNEC-J クリティカルケアアカリキュラム看護教育プログラムの概要. ELNEC-J クリティカルケアアカリキュラム看護師教育プログラム, 東京, 2016年11月19-20日.
7. 加賀谷聡子: 虚血性心疾患患者の病気の認識とセルフマネジメント. 第13回脳心血管抗加齢研究会, 東京, 2016年12月17日.

論文

1. Ito Y, Teruya K, Kubota H, Yorozu T, Nakajima E: Factors affecting pain assessment scores in patients on mechanical ventilation. Intensive and Critical Care Nursing, 2017. DOI: 10.1016/j.iccn.2017.03.001. (in press).

著書

1. 中島恵美子: 症状・生体機能管理技術 側臥位での褥瘡

予防(体圧分散)／座位での褥瘡予防(体圧分散). 中島恵美子監修. Web, 看護roo!, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/397>. / <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/398>.

2. 伊藤有美: 呼吸・循環を整える技術 人工呼吸ケア(6)NPPVの導入・管理／(7)NPPV装着患者さんへの看護ケア／(8)NPPV装着患者さんへの皮膚トラブル予防. 中島恵美子監修. Web, 看護roo!, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/401>. / <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/402>. / <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/447>.
3. 百々典子: 与薬の技術(1)インスリン自己注射の指導／(2)インスリン製剤の種類・用法・副作用の観察. 中島恵美子監修. Web, 看護roo!, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/415>. / <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/416>.
4. 加賀谷聡子: 救命救急処置技術 経皮的ペーシング. 中島恵美子監修. Web, 看護roo!. 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/421>.
5. 東利江: 症状・生体機能管理技術 消化管内視鏡検査(1)上部消化管内視鏡検査の介助／消化管内視鏡検査(2)下部消化管内視鏡検査の介助. 中島恵美子監修. Web, 看護roo!, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/422>. / <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/423>.
6. 伊藤有美: 救命救急処置技術 輪状甲状靭帯切開(1)輪状甲状靭帯切開の介助. 中島恵美子監修. Web, 看護roo!, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/424>.
7. 量倫子: 清潔・衣生活援助技術 フットケア(1)(足病変の観察～爪切り). 山本君子監修. Web, 看護roo!, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/429>.
8. 太田淳子: 高齢者看護技術 高齢者の活動援助(2)関節の拘縮予防訓練(高齢者向け). 山本君子監修. Web, 看護roo!, 2016. <https://www.kango-roo.com/sn/m/view/435>.
9. 太田淳子: 日常生活の自立に対する援助／日常生活における援助技術 D排泄～F衣生活. 看護学入門11巻 老年看護. 小池妙子編. 東京, メヂカルフレンド社, 2016. p. 78-91/p. 113-151.
10. 太田淳子: ラ・スパ過去問対策2017 第105回看護師国家試験問題解説午前問題38. テコム編集委員会編, 東京, 医学評論社, 2016. p. 26.
11. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵: ナーシング・グラフィカ成人看護学④周術期看護第3版. 大阪, メディカ出版, 2017.
12. 加賀谷聡子: 各手術時の看護支援 循環器系に障害のある人の手術 狭心症／閉塞性動脈硬化症. ナーシング・グラフィカ成人看護学④周術期看護第3版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2017. p. 140-144/p. 157-162.
13. 伊藤有美: 各手術時の看護支援 循環器系に障害のある人の手術 心臓弁膜症／大動脈解離. ナーシング・グラフィカ成人看護学④周術期看護第3版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2017. p. 144-151/p. 151-156.
14. 東利江: 各手術時の看護支援 消化器系に障害のある人の手術 大腸癌／性・生殖器系に障害のある人の手術前立腺癌. ナーシング・グラフィカ成人看護学④周術期看護第3版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 東京, メディカ出版, 2017. p. 176-180/p. 252-256.
15. 量倫子: 各手術時の看護支援 消化代謝系に障害のある人の手術 肝臓癌. ナーシング・グラフィカ成人看護学④周術期看護第3版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2017. p. 184-190.
16. 熊野奈津美: 各手術時の看護支援 感覚器系に障害のあ

る人の手術 白内障. ナーシング・グラフィカ成人看護学④周術期看護第3版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2017. p.222-224.

17. 吉井真美:各手術時の看護支援 運動器系に障害のある人の手術 変形性膝関節症. ナーシング・グラフィカ成人看護学④周術期看護第3版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2017. p.235-238.
18. 百々典子:各手術時の看護支援 運動器系に障害のある人の手術 腰椎椎間板ヘルニア. ナーシング・グラフィカ成人看護学④周術期看護第3版. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2017. p.239-243.

その他

1. 中島恵美子:がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業がん患者コーディネーター養成 (インテンシブ) コース主催. 三鷹, 2016年9月9日-11月17日.

母子看護学研究室

講演

1. 松岡恵: TBL (チーム基盤型学習) の実際. 聖隷クリストファー大学FD, 浜松, 2017年3月16日.

助産学研究室

その他

1. 加藤千晶: 日本母子看護学会理事, 平成27・28年度.
2. 加藤千晶: 第47回日本分娩監視研究会当番幹事, 三鷹, 2016年6月11日.

小児看護学研究室

講演

1. 西田志穂, 中村明子, 飯村直子, 吉野純, 赤津美雪: 病児および病後児保育施設における子どもとその親へのかかわりー看護職・保育職が気をつけていることを中心にー. 第63回日本小児保健協会学術集会, さいたま, 2016年6月23-25日.
2. 中村明子, 西田志穂, 飯村直子, 吉野純, 赤津美雪: 病児・病後児保育施設の看護職・保育職がとらえる他施設との連携. 第63回日本小児保健協会学術集会, さいたま, 2016年6月23-25日.
3. 西田志穂, 中村明子, 飯村直子, 吉野純, 赤津美雪: 病児および病後児保育施設における看護職および保育職の親へのかかわり. 日本小児看護学会第26回学術集会, 大分, 2016年7月23-24日.
4. 吉野純, 飯村直子, 西田志穂, 中村明子, 赤津美雪: 地域の子育て支援の現状と支援者たちのニーズ. 日本小児看護学会第26回学術集会, 大分, 2016年7月23-24日.
5. Iimura N, Yoshino J, Nishida S, Nakamura A, Akatsu M: Support for Families with Small Children by Connecting Generations. The 20th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS), China, March 9th-10th, 2017.

地域看護学研究室

講演

学会・研究会, ポスターセッション

1. 加藤昌代: カウンセリングワークショップ. 第612回NPO 法人日本精神療学会, 前橋, 2016年4月18-19日.
2. 加藤昌代: カウンセリングワークショップ. 第619回NPO

法人日本精神療学会, 長野, 2016年8月27-28日.

3. 橋本結花, 大木幸子, 村中峯子, 奥田博子, 中板育美: 自治体保健師が認識している保健師のキャリア形成に関する課題【第一報】. 第75回日本公衆衛生学会学術集会, 大阪, 2016年10月26-28日.
4. 中板育美, 橋本結花, 大木幸子, 奥田博子, 村中峯子: 自治体保健師のキャリアパスモデルの開発【第二報】. 第75回日本公衆衛生学会学術集会, 大阪, 2016年10月26-28日.
5. 奥田博子, 宮崎美砂子, 守田孝恵, 佐伯和子, 中板育美, 橋とも子, 福島富士子, 石丸美奈, 中西信代, 橋本結花, 村中峯子, 森永裕美子, 大木幸子: 保健師の人材育成計画策定ガイドラインの開発. 第75回日本公衆衛生学会学術集会, 大阪, 2016年10月26-28日.
6. 井上洋士, 戸ヶ里泰典, 細川陸也, 高久陽介, 矢島嵩, 板垣貴志, 若林チヒロ, 大木幸子: HIV陽性者のペット飼育・意向有無と健康状態・経済状況・はりあいとの関係の検討. 第75回日本公衆衛生学会学術集会, 大阪, 2016年10月26-28日.
7. 大木幸子, 片桐朝美, 古川佳子, 加藤昌代, 小松実弥: 生活保護受給世帯の若者自立支援における効果的支援技術とその構造. 第75回日本公衆衛生学会学術集会, 大阪, 2016年10月26-28日.
8. 石原道子, 石上ゆか, 五島敦子, 巻島富士美, 土屋由利子, 鈴木弘子, 中沢真由美, 大木幸子: 重症心身障害児(者)訪問看護事業利用者の生活状況実態調査. 第6回日本在宅看護学会学術集会, 東京, 2016年11月19-20日.

地域の講演会, 一般向け公開講座等

1. 大木幸子: 保健師の行う地区診断～地域を捉え, 地域と協働する～. 東京都多摩府中保健所, 府中, 2016年5月25日.
2. 大木幸子: 個別相談支援におけるインテークの方法と技術, 東京, 2016年5月25日.
3. 大木幸子: 保健師の行う地区診断～地域を捉え, 地域と協働する～. 東京都町田市保健所地域診断研修, 町田, 2016年7月13日.
4. 大木幸子: 個別支援について考える～家族アセスメントを中心に～. 横浜市保健師1年目研修 (第1回), 横浜, 2016年8月3日.
5. 大木幸子: 保健師に求められる能力, 視点, 姿勢. 平成26年度青森県初任期保健師研修第1回, 青森, 2016年8月19日.
6. 大木幸子: 地域での健康づくりのすすめかた～地域で暮らし続けるために～. 日の出町健康推進員交流会, 日の出, 2016年9月20日.
7. 大木幸子: 地域を捉え, 地域と協働する地域診断. 町田市地域介護予防推進員研修会, 町田, 2016年10月5日.
8. 大木幸子: 喀痰吸引や経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援. 重度訪問回付後従事者研修, 三鷹, 2016年10月25日.
9. 大木幸子: 緊急時の対応及び危険防止. 重度訪問回付後従事者研修, 三鷹, 2016年10月25日.
10. 大木幸子: 地区活動の評価. 所沢市地域診断中間報告会, 所沢, 2016年11月29日.
11. 大木幸子: 家族支援について～家族アセスメントを中心に～. 渋谷区援助困難支援ケース会議, 東京, 2016年12月13日.
12. 大木幸子: 活動計画と評価. 町田市地域介護予防推進員研修会, 町田, 2016年12月13日.
13. 大木幸子: 個人・家族を取り巻く社会環境のアセスメント. 横浜市保健師1年目研修 (第2回), 横浜, 2016年12月20日.

- 大木幸子:個別支援において重要な視点と保健師の役割. 横浜市保健師1年目研修(第2回), 横浜, 2016年12月20日.
- 大木幸子:家族アセスメントをとおして支援につなげるために. 新宿区保健師研修, 東京, 2017年1月10日.
- 大木幸子:保健師に求められる能力, 視点, 姿勢. 平成26年度青森県初任期保健師研修第2回, 青森, 2017年1月13日.
- 大木幸子:地区活動計画と評価. 町田市保健所研修会, 町田, 2017年2月15日.
- 大木幸子:個別支援から行う地域診断～個別支援から地域の健康課題. 多摩府中保健所研修会, 府中, 2017年3月3日.
- 大木幸子:セクシュアリティってなんだろう. 感染症医療通訳養成講座, 横浜, 2017年3月16日.
- 大木幸子:保健所の仕事と結核・エイズの支援. 感染症医療通訳養成講座, 横浜, 2017年3月16日.

論文

- Togari T, Inoue Y, Takaku Y, Abe S, Hosokawa R, Itagaki T, Oki S, Katakura N, Wakabayashi C, Yajima T: Virtual and real social support networks in mental health of Japanese HIV-positive men: nationwide HIV/AIDS Web research. HIV/AIDS Research and Treatment 3(1):1-12, 2016.

著書

- 大木幸子:感染症集団発生と保健活動. 対象別公衆衛生看護活動. 東京, 医学書院, 2016. p. 328-339.

報告書

- 大木幸子:地域の相談支援機関利用による薬物使用HIV陽性者の回復事例の調査. 厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業)平成28年度 地域においてHIV陽性者と薬物使用者を支援する研究 総括・分担研究報告書総合報告書.
- 土屋菜歩, 堅多敦子, 稲垣智一, 石丸雄二, 城所敏英, 渡部ゆう, 大木幸子, 今村顕史:保健所におけるHIV検査・相談の現状評価と課題解決に向けての研究, 厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業)平成28年度 HIV検査受検勧奨に関する研究 総括・分担研究報告書.

その他

- 石原道子, 石上ゆか, 五島敦子, 巻島富士美, 土屋由利子, 鈴木弘子, 中沢真由美, 大木幸子:第6回日本在宅看護学会学術集会グッドポスター賞, 重症心身障害児(者)訪問看護事業利用者の生活状況実態調査, 第6回日本在宅看護学会学術集会, 東京, 2016年11月19-20日.

精神看護学研究室

講演

- 佐藤美保:新実習指導のためのパネルディスカッション. 井之頭病院臨床指導者研修会, 三鷹, 2016年6月16日.
- 杉山尚子, 渡辺広美, 吉田信子, 松本由美, 佐藤美保:大学病院精神科病棟における退院前訪問の意義—退院が困難な患者および家族への退院前訪問看護実践より—日本精神保健看護学会第26回学術集会, 大津, 2016年7月2-3日.
- 江波戸和子:臨床における暴力とクレーム対応. 埼玉県看護協会臨床実習指導者養成研修会, 鴻巣, 2016年7月5日.
- 安藤明子, 前田佳美, 飛田良子, 岡本梓, 石澤まり, 村井やす子, 吉原恭子, 大澤里実, 浅沼奈美:国立市の母子保健システムの構築に向けて～虐待予防検討会から見えてきたこと～. 平成28年度第12回東京都福祉医療学会

抄録集 328-329, 東京, 2016年12月15日.

- 江波戸和子:病院と地域の連携—安定して生活するために必要なこと—. 平成28年度精神保健福祉対策 社会復帰促進事業 地域連携研修会, 小平, 2017年2月2日.
- 江波戸和子:発達障害やうつを抱える同僚への理解と協働～不思議ちゃんと困ったさんと共に成長しよう!～. 多摩南医療圏 看護管理者研修会, 府中, 2017年2月27日.
- 浅沼奈美:地域で働く相談援助職の燃え尽きとレジリエンス. 調布市福祉健康部部内研修, 調布, 2017年2月28日.
- 田中優里奈, 長内千紗, 鈴木智瑛, 山口恵子, 齊藤広子, 吉田信子, 岡田昌也:大学病院での精神科作業療法における看護師の役割—OTカンファレンスから見出したこと—. 杏林メディカルフォーラム, 三鷹, 2017年3月4日.
- 江波戸和子:看護実践と責任体制・看護職員的能力開発. 東京精神科病院協会 看護管理者研修, 東京, 2017年3月17日.

著書

- 江波戸和子:精神科コース 今日精神科看護の課題とこれからの精神科看護. 学研ナーシングサポート. 黒田美喜子, 北野進監修. 東京, 学研メディカルサポート, 2017.

医療科学 I 研究室

その他

- 岩楯桜子:2016東アジア地区女子選手権大会引率スタッフ, 帯同ドクター 派遣, 中国, 2016年7月19-24日.
- 岩楯桜子:第11回アジアユース女子選手権大会(U-18)引率スタッフ, 帯同ドクター 派遣, 中国, 2017年3月5-13日.

● 看護学科・看護養護教育学専攻 ●

太田 ひろみ

講演

- 太田ひろみ, 佐々木裕子, 鈴木朋子, 佐藤喜美子, 山内亮子, 場家美沙紀:ピアサポーターによる家庭訪問の効果. 第31回日本双生児研究学会学術講演会, 新座, 2017年1月28日.

論文

- 楠田美奈, 場家美沙紀, 井手拓郎¹, 亀崎路子, 佐々木裕子, 大屋千鶴, 山下真理子, 赤嶺恵理¹, 太田ひろみ¹(¹杏林大・外・観光交流文化学):大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援の成果と今後の課題. 杏林CCRC研究所紀要 3: 23-27, 2017.
- 地域交流委員会(石井博之¹, 太田ひろみ, 柴崎美紀¹, 千田晋治¹, 岡村裕², 八木橋宏勇³(¹杏林大・保, ²杏林大・総合, ³杏林大・外)):CCRC構想における地域活動. 杏林CCRC研究所紀要 3: 105-115, 2017.

大瀧 純一

講演

- 青戸依子, 岸野智則, 原島敬一郎, 司茂幸英, 石本翔, 住吉彩, 須藤恵美, 浦田毅, 関口久美子, 高城靖志, 大塚弘毅, 大瀧純一, 大西宏明, 渡邊卓:腹部超音波検査前に朝食を摂取したときの胆嚢画像の変化. 第63回日本臨床検査医学会学術集会, 神戸, 2016年9月1-4日.

亀崎 路子

講演

1. 亀崎路子: いじめ防止プログラム研修. 聖徳学園中学・高等学校教職員研修会, 武蔵野, 2016年8月30日.
2. 亀崎路子: 日本の学校保健における児童青少年の心の健康づくり. 日中医学協会 児童青少年健康管理技術リーダー研修, 中華人民共和国, 2016年9月12日.
3. 亀崎路子, 荻津真理子: 小・中学生における傷病の表現行動と養護教諭の対応に関する予備的調査. 日本学校保健学会第63回学術大会, つくば, 2016年11月19日.
4. 亀崎路子: 基調報告 子どもが危機を感じる時, 養護教諭が危機を感じるとおき一事例を通して向き合うこと一. 日本学校健康相談学会第13回学術集会, 三鷹, 2017年3月25日.
5. 宮本涼子, 亀崎路子: 性の問題を打ちあけた中学校女子生徒への介入支援における養護教諭の実践検討一生徒の心境と養護教諭の対応の意図の振り返りを中心の一. 日本学校健康相談学会第13回学術集会, 三鷹, 2017年3月25日.
6. 河野千枝, 雨宮恵子, 亀崎路子, 古谷明子, 竹俣由美子, 山中寿江, 上原美子, 中川裕子, 大谷尚子: 養護学の構築に向けての基礎的研究一養護教諭の養護の本質の探究一. 日本学校健康相談学会, 三鷹, 2017年3月26日.
7. 中島伸子, 外山紀子, 向井隆久, 亀崎路子, 木内妙子: 学校保健室における小・中学生の痛みの表現と養護教諭の対応, 自主シンポジウム 子どもの痛み表現の社会的構成. 日本発達心理学会第28回大会, 広島, 2017年3月27日.

論文

1. 上原美子¹, 秋山緑², 亀崎路子, 河野千枝³, 小池ま帆⁴, 山田小夜子⁵, 渡辺美恵⁶ (¹埼玉県立大学, ²稲城市立沼里小学校, ³八千代町立八千代第一中学校, ⁴埼玉県立川越初雁高校, ⁵中部学院大学, ⁶関市立緑ヶ丘中学校): 養護教諭の成長を捉える視点に関する研究 (第2報) ーある養護教諭のライフストーリーからみた自己実現過程に着目してー. 学校健康相談研究 13(1): 43-55, 2016.
2. 桑野千春¹, 松永恵², 亀崎路子 (¹広島県公立中学校, ²茨城キリスト教大学): 子どもの思いを察し, 勇気づける養護教諭の対応の課題と意義一事例検討会後の振り返りから一. 学校健康相談研究 13(1): 56-64, 2016.
3. 楠田美奈¹, 場家美沙紀², 井手拓郎³, 亀崎路子, 佐々木裕子⁴, 大屋千鶴⁵, 山下真理子⁶, 赤嶺恵理⁷, 太田ひろみ⁸ (¹杏林大・保・基礎看護学, ²杏林大・保・小児看護学, ³杏林大・外・観光交流文化学科): 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援の成果と今後の課題. 杏林CCRC研究所紀要 3: 23-27, 2017.

報告書

1. 荒木田美香子, 池添志乃, 亀崎路子, 津島ひろ江, 櫻田淳: 養護教諭養成教育検討委員会, 平成28年度事業活動報告書. 一般社団法人日本看護系大学協議会, 東京, 2017.

その他

1. 亀崎路子 (第12回学術集会実行委員会): ミニワークシヨップ報告 実践研究への導入一問題意識をもって記録をしてみる一. 学校健康相談研究 13(1): 91-95, 2016.
2. 亀崎路子 (養護教諭の学校危機管理を学ぶ会): 【養護教諭なんでも相談室】いじめ防止と養護教諭の関わり. 心とからだの健康, 20(6): 37-39, 2016年6月1日発行.
3. 亀崎路子: 日本学校健康相談学会第13回学術集会主催, 三鷹, 2017年3月25-26日.
4. 亀崎路子: 学校健康相談研究第13巻1号 編集後記, 水戸, 2016年12月22日発行
5. 亀崎路子: いじめ防止プログラム推進のための助言指導, 聖徳学園中学・高等学校, 武蔵野, 2016年4月1日-2017

年3月31日.

6. 亀崎路子, 上原美子, 伊藤ひろみ: 養護教諭の学校危機管理を学ぶ会主催, 三鷹, 2016年7月1日・2017年3月11日.
7. 亀崎路子: 教員採用試験参考書シリーズ養護教諭の参考書2018年度版 (11自治体を担当). 協同教育研究会編. 協同出版, 東京, 2016年11月25日発行.
8. 亀崎路子: 教員採用試験過去問シリーズ養護教諭の過去問2018年度版解説, 協同教育研究会編. 協同出版, 東京, 2017年1-3月発行.

佐々木 裕子

講演

1. 佐々木裕子, 高橋真理: 妊娠期からのペアレンティング「赤ちゃんの寝かしつけ準備講座」Web教材の開発. 第18回日本母性看護学会学術集会, 久留米, 2016年6月18日.
2. 太田ひろみ, 佐々木裕子, 鈴木朋子, 佐藤喜美子, 山内亮子, 場家美沙紀: ピアサポーターによる家庭訪問の効果. 第31回日本双生児研究学会学術講演会, 新座, 2017年1月28日.
3. Sasaki Y: Development and effect of a parenting program for promoting the postpartum mental health of first-time parents. Focusing on the development of Web-based e-learning materials. The 5th Australian Japanese Symposium in Women's Health, Tokyo, February 13th, 2017.

論文

1. 楠田美奈, 場家美沙紀, 井手拓郎¹, 亀崎路子, 佐々木裕子, 大屋千鶴, 山下真理子, 赤嶺恵理¹, 太田ひろみ (¹杏林大・外・観光交流文化学): 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援の成果と今後の課題. 杏林CCRC研究所紀要 3: 23-27, 2017.

著書

1. 宗田聡, 佐々木裕子, 加部一彦: 出産・産後の準備アプリ「ファミリースタート」. 東京, NPO法人マドレボニータ, 2016. <https://www.35.madrebunita.com/familystart>.

報告書

1. 佐々木裕子: はじめて親となる夫婦のメンタルヘルス予防に向けたペアレンティングプログラムの効果. 文部科学研究費補助金(基盤研究C)2016年度研究成果報告書.

佐藤 ユキ子

講演

1. 山本君子, 佐藤智子, 佐藤ユキ子, 太田淳子, 平川美和子, 清水典子: 認知症講座受講の有無による介護負担感への影響. 第15回日本ケアマネジメント学会, 北九州, 2016年6月18-19日.

論文

1. 山本君子¹, 竹内孝仁², 井上善行³, 佐藤智子¹, 佐藤ユキ子, 天野雅美⁴ (¹杏林大学保健学部, ²国際医療福祉大学大学院, ³日本赤十字秋田短期大学, ⁴東京医科大学): 介護職の“その人らしさ”の捉え方に関する調査. 日本自立支援介護学会 9(2): 120-127, 2016.

角田 ますみ

講演

1. 角田ますみ: 介護施設に勤務する介護福祉士の倫理的問題の認識および対処と倫理現任教育の現状. 日本生命倫理学会, 大阪, 2016年12月4日.

- 角田ますみ：手術看護の生命倫理-周手術期に問われる看護師の倫理とは。第20回日本手術看護学会研修会，東京，2016年7月15日。
- 角田ますみ：いま，考えてほしい看護倫理の問題-周手術期に問われるナースの倫理とは。第20回日本手術看護学会中堅者研修会，東京，2016年7月23日。
- 角田ますみ：介護現場における生命倫理とは。第2回全国老人保健施設協会研修会，東京，2016年7月25日。
- 角田ますみ：高齢者ケアと生命倫理。第3回全国老人保健施設協会中堅者研修会，東京，2016年10月14日。
- 角田ますみ：看護倫理-高齢者の意思決定支援における看護師の倫理的役割-。平成28年度自衛隊中央病院看護部研修会，東京，2017年3月29日。

論文

- 角田ますみ：シラバスからみる大学における介護福祉士養成課程の倫理教育。生命倫理 26(1):35-45, 2016。
- 鶴若麻理¹，大桃美穂²，角田ますみ（¹聖路加国際大学，²町田市市民病院）：アドバンス・ケア・プランニングのプロセスと具体的支援-訪問看護師が療養者へ意向確認するタイミングの分析を通して-。生命倫理 26(1):90-99, 2016

著書

- 角田ますみ：がん遺伝カウンセリングの実際-多発性内分泌腫瘍。遺伝子医学MOOK別冊 最新遺伝性腫瘍・家族性腫瘍研究と遺伝カウンセリング。三木義男編。東京，メディカルドゥ，2016。p.294-299。
- 角田ますみ，宮崎伸一（監修）：クエスチョンバンク・看護師国家試験問題解説2017。東京，メディックメディア，2016。
- 金沢善智，角田ますみ（監修）：クエスチョンバンク・ケアマネ試験問題解説2017。東京，メディックメディア，2017。

戸塚 恵子

講演

- 戸塚恵子，上谷いつ子，柴山志穂美，楠田美奈，佐々木久美子，守屋一子，島内俊子：病棟看護師の在宅に向けての退院支援の現状と課題（第1報）。第21回在宅ケア学会，東京，2016年7月16-17日。
- 柴山志穂美，上谷いつ子，戸塚恵子，楠田美奈，佐々木久美子，守屋一子，島内俊子：病棟看護師の在宅に向けての退院支援の現状と課題（第2報）。第21回在宅ケア学会，東京，2016年7月16-17日。
- 戸塚恵子，上谷いつ子，柴山志穂美，楠田美奈，高橋素子：病棟看護師の訪問看護同行研修における退院支援に向けた学習効果と課題。第36回日本看護科学学会，東京，2016年12月10-11日。

報告書

- 戸塚恵子：医療法人財団慈生会野村病院「看護師の在宅療養に向けての退院支援」調査報告書 2016。

その他

- 戸塚恵子：東京都知的障害者（児）移動介護従事者養成研修「知的障害者の疾病・障害の理解」講師，2016年9月4日・2017年2月5日。
- 戸塚恵子：世田谷区保健師人材育成プリセプター研修「新任期保健師および保健師学生の指導について考える」講師，2016年8月17日。

石野 晶子

論文

- 石野晶子：重篤な有害事象報告前後におけるHPVワクチンに対する保護者の認識と要望に関する研究。日本民族衛生学会誌82(6):208-216, 2016。

佐野 恵美香

講演

- Sano E, Ueki J, Sasaki S, Kuriyama S, Muraki K, Nagashima O, Hino K, Ikeda M, Tominaga S: Self-management education using interactive application software for tablet computer to improve health status in patients with COPD: A randomized controlled trial. European Respiratory Society International Congress 2016, UK, September 3rd-7th, 2016.
- Tamamoto K, Ueki J, Sano E, Ikeda M, Hino K, Sano Y: The novel approach in enhancing availability and quality of self-management education in patients with COPD receiving LTOT by introducing new-generation interactive application software of iPad. The 1st International Symposium on Health Innovation and Nursing Research 2017, Thai, February 23rd-24th, 2017.

場家 美沙紀

講演

- 太田ひろみ，佐々木裕子，鈴木朋子，佐藤喜美子，山内亮子，場家美沙紀：ピアサポーターによる家庭訪問の効果。日本双生児研究学会第31回学術講演会，新座，2017年1月28日。

論文

- 楠田美奈¹，場家美沙紀¹，井手拓郎²，亀崎路子³，佐々木裕子⁴，大屋千鶴⁵，山下真理子⁶，赤嶺恵理²，太田ひろみ⁴（¹杏林大・保・基礎看護学，²杏林大・外・観光，³杏林大・保・学校看護学，⁴杏林大・保・母子看護学，⁵杏林大・保・成人看護学，⁶杏林大・保・精神保健看護学）：大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援の成果と今後の課題。杏林CCRC研究所紀要 3:23-27, 2017。

山内 亮子

講演

- 太田ひろみ，佐々木裕子，鈴木朋子，佐藤喜美子，山内亮子，場家美沙紀：ピアサポーターによる家庭訪問の効果。日本双生児研究学会第31回学術講演会，新座，2017年1月28日。

山下 真理子

論文

- 楠田美奈，場家美沙紀，井手拓郎¹，亀崎路子，佐々木裕子，大屋千鶴，山下真理子，赤嶺恵理¹，太田ひろみ（¹杏林大・総合・観光学科）：大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援の成果と今後の課題。杏林CCRC研究所紀要 3:23-27, 2016。

大屋 千鶴

論文

1. 楠田美奈, 場家美沙紀, 井手拓郎, 亀崎路子, 佐々木裕子, 大屋千鶴, 山下真理子, 赤嶺恵理, 太田ひろみ: 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援の成果と今後の課題. 杏林CCCR研究所紀要 3:23-27, 2017.

楠田 美奈

講演

1. 戸塚恵子, 上谷いつ子, 柴山志穂美, 楠田美奈, 佐々木久美子, 守屋一子, 島内俊子: 病棟看護師の在宅に向けての退院支援の現状と課題 (第1報) - 実践に対する認識と研修・学習会受講との関連を中心に -. 第21回日本在宅ケア学会学術集会, 東京, 2016年7月16-17日.
2. 柴山志穂美, 上谷いつ子, 戸塚恵子, 楠田美奈, 佐々木久美子, 守屋一子, 島内俊子: 病棟看護師の在宅に向けての退院支援の現状と課題 (第2報) - 実践に対する満足感や困難感とその理由に焦点を当てて -. 第21回日本在宅ケア学会学術集会, 東京, 2016年7月16-17日.
3. 戸塚恵子, 上谷いつ子, 柴山志穂美, 楠田美奈, 高橋素子: 病院看護師の訪問看護同行研修における退院支援に向けた学習効果と課題. 第36回日本看護科学学会学術集会, 東京, 2016年12月10-11日.

論文

1. 楠田美奈, 場家美沙紀, 井手拓郎¹, 亀崎路子, 佐々木裕子, 大屋千鶴, 山下真理子, 赤嶺恵理¹, 太田ひろみ¹ (杏林大・外・観光): 大学生と当事者の連携による発達障がい児の余暇活動支援の成果と今後の課題. 杏林CCCR研究所紀要 3: 23-27, 2017.

鈴木 朋子

講演

1. 太田ひろみ, 佐々木裕子, 鈴木朋子, 佐藤喜美子, 山内亮子, 場家美沙紀: ピアサポーターによる家庭訪問の効果. 日本双生児研究会第31回学術講演会, 新座, 2017年1月28日.

● 臨床工学科 ●

岸野 智則

講演

1. 森井健司, 岸野智則, 鳥森直子, 本橋美津江, 本谷啓太, 青柳貴之, 田島崇, 市村正一: 軟部腫瘍の診断における超音波検査の有用性の検討. 第89回日本整形外科学会学術総会, 横浜, 2016年5月12-15日.
2. 森秀明, 西川かおり, 塚田幾太郎, 關里和, 小樽二世, 本田善久, 峯佳毅, 岸野智則, 齋田真由美: 腹部領域におけるSMI (Superb Micro-vascular Imaging). 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日.
3. 青戸依子, 岸野智則, 原島敬一郎, 司茂幸英, 石本翔, 住吉彩, 須藤恵美, 浦田毅, 関口久美子, 高城靖志, 大塚弘毅, 大瀧純一, 大西宏明, 渡邊卓: 腹部超音波検査前に朝食を摂取したときの胆嚢画像の変化. 第63回日本臨床検査医学会学術集会, 神戸, 2016年9月1-4日.
4. 大塚弘毅, 大西宏明, 小倉航, 松島早月, 岸野智則, 渡邊卓: EGFR V843I germline変異をもつ遺伝性肺癌症例におけるWhole Genome Sequencing解析. 第63回日本臨床検査医学会学術集会, 神戸, 2016年9月1-4日.

5. 森井健司, 岸野智則, 鳥森直子, 本橋美津江, 本谷啓太, 青柳貴之, 田島崇, 市村正一: 表在性軟部腫瘍の超音波診断. 第65回東日本整形災害外科学会, 箱根, 2016年9月22-23日.
6. 鳥森直子, 岸野智則, 大西宏明, 森井健司, 本谷啓太, 望月眞, 高城靖志, 渡邊卓: 超音波画像所見で脂肪肉腫の組織型を推定する試み. 平成28年度日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会 (第53回), 中巨摩, 2016年10月29-30日.
7. 小林昌永, 柿崎明日香, 宮島彩, 西墻周平, 福田直也, 橋本茂樹, 関昌世, 仁隼人, 原島敬一郎, 岸野智則: 下肢arterial stiffness index (ASI)の臨床応用への可能性. 第45回杏林医学会総会, 三鷹, 2016年11月19日.
8. 西墻周平, 原島敬一郎, 小林昌永, 柿崎明日香, 関昌世, 橋本茂樹, 福田直也, 宮島彩, 仁隼人, 岸野智則: 経皮的心肺補助装置 (percutaneous cardio-pulmonary support, PCPS) における異物の発生を早期かつ簡便に検出する装置の開発を目指して. 第3回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2016年12月3日.
9. 小林昌永, 原島敬一郎, 柿崎明日香, 宮島彩, 西墻周平, 橋本茂樹, 福田直也, 関昌世, 仁隼人, 岸野智則: 下肢arterial stiffness index (ASI): 新たな動脈硬化検査法としての可能性. 第3回日本血管血流学会学術集会, 東京, 2016年12月3日.

論文

1. Watanabe K¹, Kishino T, Sano J¹, Ariga T¹, Okuyama S², Mori H², Matsushima S³, Ohtsuka K^{1,3}, Ohnishi H^{1,3}, Watanabe T^{1,3} (¹Department of Clinical Laboratory, Kyorin University Hospital, ²The Third Department of Internal Medicine, Kyorin University School of Medicine, ³Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine): Relationship between epicardial adipose tissue thickness and early impairment of left ventricular systolic function in patients with preserved ejection fraction. Heart Vessels 31: 1010-1015, 2016.
2. Fujino A¹, Kishino T, Watanabe K¹, Sekiguchi K¹, Takagi Y¹, Matsushima S², Ohtsuka K^{1,2}, Yotsukura M, Ohnishi H^{1,2}, Watanabe T^{1,2} (¹Department of Clinical Laboratory, Kyorin University Hospital, ²Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine): Relationship between pericardial adipose tissue thickness and early impairment of left ventricular function, both evaluated on echocardiography. 臨床病理 64: 1134-1138, 2016.

その他

1. 岸野智則: 一般口演 座長, 第45回杏林医学会総会, 三鷹, 2016年11月19日.

嶋津 秀昭

講演

1. Seno S, Kogure E, Watanabe A, Kato S, Kobayashi H, Shimazu H: Analysis of factors that influence current perception thresholds in fingers of healthy subjects. 生体医工学シンポジウム2016, 旭川, 2016年9月17-18日.

論文

1. Seno S, Nemoto T¹, Fukuoka M², Watanabe A, Kato S, Kogure E, Kobayashi H, Shimazu H (¹Kanazawa University, ²Waseda University): Quantitative Evaluation of an Unrestrictive Sweat Rate Measurement Device. Advanced Biomedical Engineering 5:76-82, 2016.

副島 昭典

講演

1. 須田健二, 山内大輔, 副島昭典: 実血流量測定装置 (QBモニター) の開発と測定精度の検討. 第61回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪, 2016年6月9日.
2. 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典: 電氣的インピーダンスを用いたシャント血流量に関する基礎検討. 三多摩腎疾患治療医会第72回研究会, 東京, 2016年11月6日.

論文

1. 副島昭典: 酸化型/還元型アルブミン. 腎と透析 81: 971-976, 2016.

著書

1. 副島昭典 (分担執筆): 第29回臨床工学技士国家試験問題解説集. 東京, へるす出版, 2016.
2. 副島昭典 (分担執筆): 第110回医師国家試験問題解説書. 東京, 医学評論社, 2016.

四倉 正之

講演

1. 吉野秀朗, 佐藤徹, 四倉正之, 坂田好美, 副島京子: 日常臨床における循環器Q&A. 第31回府中市医師会循環器勉強会, 府中, 2016年6月20日.
2. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会, 三鷹, 2016年11月25日.
3. 吉野秀朗, 佐藤徹, 四倉正之, 坂田好美, 佐藤俊明: 日常臨床における循環器Q&A. 第32回府中市医師会循環器勉強会, 府中, 2017年2月6日.
4. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会, 三鷹, 2017年3月24日.

論文

1. Fujino A¹, Kishino T, Watanabe K¹, Sekiguchi K¹, Takagi Y¹, Matsushima S², Ohtsuka K^{1,2}, Yotsukura M, Ohnishi H^{1,2}, Watanabe T^{1,2} (¹Department of Clinical Laboratory, Kyorin University Hospital, ²Department of Laboratory Medicine, Kyorin University School of Medicine): Relationship between pericardial adipose tissue thickness and early impairment of left ventricular function, both evaluated on echocardiography. Rinsho Byori 64: 1134-1138, 2016.

小林 博子

講演

1. Seno S, Kogure E, Watanabe A, Kato S, Kobayashi H, Shimazu H: Analysis of factors that influence current perception thresholds in fingers of healthy subjects. 生体医工学シンポジウム2016, 旭川, 2016年9月17-18日.

論文

1. Seno S, Nemoto T¹, Fukuoka M², Watanabe A, Kato S, Kogure E, Kobayashi H, Shimazu H (¹Kanazawa University, ²Waseda University): Quantitative Evaluation of an Unrestrictive Sweat Rate Measurement Device. Advanced Biomedical Engineering 5:76-82, 2016.

中島 章夫

講演

1. 中島章夫: レーザ医学の安全に関する基礎的重要事項. 化学放射線療法又は放射線療法後の局所遺残再発食道

癌患者に対する光線力学的療法 (PDT) 講習会, 東京, 2016年5月11日.

2. 廣瀬稔, 小鷹丈彦, 工藤元嗣, 木村俊也, 中島章夫: 高気圧酸素治療における学生実習の現状～養成校・実習指導者が求めるもの・求められるもの～. 第26回日本臨床工学会, 京都, 2016年5月14日.
3. 小鷹丈彦, 工藤元嗣, 廣瀬稔, 中島章夫: 「教育の本質」を柱とした臨床工学技士養成校教員研究会の終了後アンケート結果から課題と展望に関する検討. 第26回日本臨床工学会, 京都, 2016年5月14日.
4. 中島章夫: 20年後の臨床工学技士養成施設～臨床工学技士の安定供給のために～. 第26回日本臨床工学会, 京都, 2016年5月14日.
5. 中島章夫: 今後の大学教育でなすべきこと～Clinical Engineering Scientist を目標に～. 第26回日本臨床工学会, 京都, 2016年5月15日.
6. 中島章夫: 安全の基礎とトラブル事例～医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識～. 第38回ME技術講習会, 那覇, 2016年6月18日.
7. 中島章夫: 医用電気機器・病院電気設備に関するJIS改定の概要とポイント. 第91回日本医療機器学会大会, 大阪, 2016年6月23日.
8. 中島章夫, 鈴木哲治, 小嶋宏紀: オペ室環境下での電気メス放射電磁波のリアルタイム音響解析システムの開発. 第91回日本医療機器学会大会, 大阪, 2016年6月24日.
9. 中島章夫: 臨床工学技士教育の現在・過去・未来～チーム医療を担うCEの卵を育成するために～. 第13回日本臨床高気圧酸素潜水医学会, 東京, 2016年6月25日.
10. 中島章夫: 光とレーザーの基礎. 第33回日本レーザー医学会 安全教育講習会, 横浜, 2016年6月26日.
11. 中島章夫: 医用レーザーの基礎. 第33回日本レーザー医学会 安全教育講習会, 横浜, 2016年6月26日.
12. 中島章夫: 安全の基礎とトラブル事例～医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識～. 第38回ME技術講習会, 東京, 2016年7月9日.
13. 中島章夫: 安全の基礎とトラブル事例～医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識～. 第38回ME技術講習会, 札幌, 2016年7月24日.
14. 中島章夫: 治療機器の原理・取扱い上の注意と保守点検. 第8回MDIC認定セミナー, 東京, 2016年10月1日.
15. 中島章夫: コンピュータ・情報セキュリティの基礎. 第8回MDIC認定セミナー, 東京, 2016年10月2日.
16. 中島章夫: 医用レーザー機器の安全. 第31回レーザー安全スクール, 東京, 2016年10月5日.
17. 中島章夫: 電気メスの基礎と原理. 第53回手術用メス安全セミナー, 京都, 2016年10月8日.
18. 水島岩徳, 中島章夫, 鈴木哲治: NPPVマスク (インタフェース)からのリーク量の解析. 第45回杏林医学会総会, 三鷹, 2016年11月19日.
19. 中島章夫: 杏林大学における高気圧酸素 (HBO) 治療教育の現状と今後の課題. 第51回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会, 東京, 2016年12月3日.
20. 中島章夫: 医用電気機器・病院電気設備に関するJIS改定の概要とポイント. 平成28年度MDIC更新ポイント取得セミナー, 札幌, 2017年3月22日.

著書

1. 中島章夫: 医用レーザーの基礎 各種医用レーザー. レーザー医療の基礎と安全. 日本レーザー医学会安全教育委員会編, 東京, アトムス, 2016. p. 27-38.
2. 中島章夫: 医療機器に関する関係法規. 臨床工学講座 医用機器安全管理学 第2版. 出淵靖志編著, 東京, 医歯薬出版(株), 2017. p. 189-206.

3. 中島章夫: 生体物性序論. 臨床工学講座 生体物性・医用材料工学 第1版第8刷. 中島章夫, 氏平政伸編著, 東京, 医歯薬出版(株), 2017. p. 1-5.
4. 中島章夫: 光治療器/冷凍手術器/結石砕石装置. 臨床工学講座 医用治療機器学 第1版第12刷. 篠原一彦編著, 東京, 医歯薬出版(株), 2017. p. 89-126/p. 157-163/p. 173-187.
5. 中島章夫: 医療法/医療関連判例. 臨床工学講座 関係法規. 中島章夫編著, 東京, 医歯薬出版(株), 2017. p. 19-30/p. 87-97.
6. 中島章夫: 電気とは/電流と電圧の関係/直流回路. 臨床工学講座 医用電気工学1第 2版. 中島章夫編著, 東京, 医歯薬出版(株), 2017. p. 1-62.
7. 中島章夫: キャパシタ(コンデンサ)/コンデンサの種類と構造. 臨床工学講座 医用電気工学2 第2版. 中島章夫編著, 東京, 医歯薬出版(株), 2017. p. 71-96/p. 191-195.
8. 中島章夫: 半導体とは/オペアンプ/電子回路部品・半導体センサ/通信. 臨床工学講座 医用電子工学 第2版. 中島章夫編著, 東京, 医歯薬出版(株), 2017. p. 1-12/p. 93-126/p. 127-136/p. 201-234.

報告書

1. 石原美弥, 高倉照彦, 中島章夫, 須田健二, 中村淳史, 新秀直, 山田紀昭, 櫛引俊宏: 医療機器保守管理のガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究, 中小医療機関向け医療機器保守点検のあり方に関する研究, 平成28年度厚生労働行政推進調査事業費(地域医療基盤開発推進研究事業) 分担研究報告書, p. 15-21.

その他

学会等活動

1. 中島章夫: 一般社団法人日本生体医工学会 代議員, 2015年5月8日-2017年社員総会.
2. 中島章夫: 公益財団法人医療機器センター 臨床工学技士試験委員, 2015年7月1日-2017年6月30日.
3. 中島章夫: 公益社団法人日本臨床工学技士会 教育研究会実行委員会委員, 2015年7月25日-2017年総会.
4. 中島章夫: 一般社団法人日本医療機器学会 代議員, 2015年10月1日-2017年9月30日.

福長 一義

講演

1. 大貫雅也, 福長一義: 超音波照射による体外循環中の微小気泡除去に関する基礎的検討. 日本生体医工学会関東支部若手研究者発表会2016, 川越, 2016年11月19日.

論文

1. Sawa Y¹, Matsumiya G², Matsuda K³, Tatsumi E⁴, Abe T⁵, Fukunaga K, Ichiba S⁶, Kishida A⁷, Kokubo K⁸, Masuzawa T⁹, Myoui A¹⁰, Nishimura M¹¹, Nishimura T¹², Nishinaka T¹³, Okamoto E¹⁴, Tokunaga S¹⁵, Tomo T¹⁶, Tsukiya T⁴, Yagi Y¹⁷, Yamaoka T⁴ (¹Osaka University Graduate School of Medicine, ²Chiba University Graduate School of Medicine, ³University of Yamanashi Hospital, ⁴National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, ⁵Iwate Medical University School of Medicine, ⁶Nippon Medical School Hospital, ⁷Tokyo Medical and Dental University, ⁸Kitasato University School of Allied Health Science, ⁹Ibaraki University, ¹⁰Osaka University Hospital, ¹¹Tottori University, ¹²The University of Tokyo, ¹³Tokyo Women's Medical University, ¹⁴Tokai University, ¹⁵Kanagawa Cardiovascular and Respiratory Center, ¹⁶Oita University, ¹⁷Kyoto Prefectural University of

Medicine): Journal of Artificial Organs 2016: the year in review. J Artif Organs 20: 1-7, 2017.

須田 健二

講演

1. 須田健二, 山内大輔, 副島昭典: 実血流量測定装置(QBモニター)の開発と測定精度の検討. 第61回日本透析医学会学会学術集会・総会, 大阪, 2016年6月9日.
2. 柏木ともか, 須田健二, 副島昭典: 電氣的インピーダンスを用いたシャント血流量に関する基礎検討. 三多摩腎疾患治療医会第72回研究会, 東京, 2016年11月6日.

報告書

1. 石原美弥, 高倉照彦, 中島章夫, 須田健二, 中村淳史, 新秀直, 山田紀昭, 櫛引俊宏: 医療機器保守管理のガイドライン策定の普及に向けた諸課題の調査研究. 厚生労働行政推進調査事業費地域 医療基板開発推進研究事業「中小医療機関向け医療機器保守点検のあり方に関する研究」平成28年度 総括・分担研究報告書: 15-21, 2017.

瀬野 晋一郎

講演

1. Seno S, Kogure E, Watanabe A, Kato S, Kobayashi H, Shimazu H: Analysis of factors that influence current perception thresholds in fingers of healthy subjects. 生体医工学シンポジウム2016, 旭川, 2016年9月17-18日.

論文

1. Seno S, Nemoto T¹, Fukuoka M², Watanabe A, Kato S, Kogure E, Kobayashi H, Shimazu H (¹Kanazawa University, ²Waseda University): Quantitative Evaluation of an Unrestrictive Sweat Rate Measurement Device. Advanced Biomedical Engineering 5:76-82, 2016.

報告書

1. 瀬野晋一郎: 非接触体表圧刺激による知覚閾値評価システムの開発. 科学研究費助成事業(若手研究(B))2013~2015年 研究成果報告書.

中村 淳史

講演

1. 向田宏, 中村淳史, 猪谷卓弘, 三枝滉, 松下訓, 天野篤: 脳内酸素飽和度の初期値は心不全の病態を反映し予後の新たな指標となり得る. 第42回日本体外循環技術医学会, 東京, 2016年10月22-23日.

報告書

1. 石原美弥, 高倉照彦, 中島章夫, 須田健二, 中村淳史, 新秀直, 山田紀昭, 櫛引俊宏: 医療機器保守管理のガイドライン策定に普及に向けた諸課題の調査研究, 中小医療機関向け医療機器保守点検のあり方に関する研究, 厚生労働行政推進調査事業費(地域医療基盤開発推進事業) 平成28年度 総括研・分担究報告書, 15-20, 2017.

渡辺 篤志

講演

1. Seno S, Kogure E, Watanabe A, Kato S, Kobayashi H, Shimazu H: Analysis of factors that influence current perception thresholds in fingers of healthy subjects. 生体医工学シンポジウム2016, 旭

川, 2016年9月17-18日.

論文

1. Seno S, Nemoto T¹, Fukuoka M², Watanabe A, Kato S, Kogure E, Kobayashi H, Shimazu H (¹Kanazawa University, ²Waseda University): Quantitative Evaluation of an Unrestrictive Sweat Rate Measurement Device. Advanced Biomedical Engineering 5:76-82, 2016.

鈴木 哲治

講演

1. 中島章夫, 鈴木哲治, 小嶋宏紀: オペ室環境下での電気メス放射電磁波のリアルタイム音響解析システムの開発. 第91回日本医療機器学会大会, 東京, 2016年6月24日.
2. 鈴木哲治: 臨床工学技士養成校より, 循環器領域に関する教育の現状「全国養成校アンケート結果報告」. 第15回日本臨床工学技士教育研究会, 東京, 2016年11月12日.

大貫 雅也

講演

1. 大貫雅也, 福長一義: 超音波照射による体外循環中の微小気泡除去に関する基礎的検討. 日本生体医工学学会関東支部若手研究者発表会2016, 川越, 2016年11月19日.

木暮 英輝

講演

1. Seno S, Kogure E, Watanabe A, Kato S, Kobayashi H, Shimazu H: Analysis of factors that influence current perception thresholds in fingers of healthy subjects. 生体医工学シンポジウム2016, 旭川, 2016年9月17-18日.

論文

1. Seno S, Nemoto T¹, Fukuoka M², Watanabe A, Kato S, Kogure E, Kobayashi H, Shimazu H (¹Kanazawa University, ²Waseda University): Quantitative Evaluation of an Unrestrictive Sweat Rate Measurement Device. Advanced Biomedical Engineering 5:76-82, 2016.

● 理学療法学科 ●

齋藤 昭彦

講演

1. 清水夏生, 橋立博幸, 太田智裕, 野口隆太郎, 山中誠一郎, 齋藤昭彦: 入院中の回復期脳卒中者の日常生活動作の自立度と身体活動量との関連. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
2. 水村あゆみ, 橋立博幸, 朝倉彩, 勝田絵梨, 嵩里日奈子, 藤澤祐基, 齋藤昭彦: 歩行時の携帯電話操作が歩行とパフォーマンスに及ぼす影響について. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.
3. 鈴木堯之, 橋立博幸, 櫻井貴紀, 小嶋弓果, 近田正幸, 藤澤祐基, 齋藤昭彦: 立位前方リーチ動作課題に対して異なる言語指示が即時的に及ぼす影響. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.
4. 櫻井貴紀, 橋立博幸, 鈴木堯幸, 小嶋弓果, 藤澤祐基, 齋藤昭彦: 異なる言語指示とフィードバックが立位前方

リーチ動作課題に及ぼす即時的影響の検討: 無作為化比較対照試験. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.

5. Shimizu N, Hashidate H, Ota T, Saito A: Characteristics of physical activity in different body positions and therapeutic contents during physical therapy sessions in subacute stroke inpatients. ACPT Congress, Malaysia, October 7th-8th, 2016.
6. Ota T, Hashidate H, Shimizu N, Saito A: Differences in improvement of mobility independence among subacute stroke inpatients who were prescribed KAFO or AFO. ACPT Congress, Malaysia, October 7th-8th, 2016.

著書

1. 齋藤昭彦(分担執筆): 2017年度版 ひとりで学べる理学療法国家試験-問題と詳解. 理学療法学会編. 東京, 廣川書店, 2016.

芝原 美由紀

講演

1. 村田裕康, 仁藤健太, 渡辺玲央斗, 芝原美由紀, 中野尚子: 疑似高齢者による滑り易い床面での歩行の検討. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-30日.
2. 芝原美由紀: 地域体育施設での障がい者スポーツ実施環境整備について. 第20回日本アダプテッド体育・スポーツ学会第18回合同大会, 岩見沢, 2016年7月17-18日.

論文

1. 石川綾子¹, 一場友実, 中村花穂², 栗原恵蘭³, 芝原美由紀, 石井博之, 八並光信(¹八王子山王病院, ²京女子医科大学病院, ³ハビリトレニングセンター): 高齢者疑似体験装具を用いた傾斜杖歩行時の呼吸循環応答の検討. 臨床理学療法研究 33:7-11, 2016.
2. 芝原美由紀, 一場友実: 大学生が行う障がい者スポーツ支援を促す取り組み. 鴨台社会福祉学論文集 26:49-53, 2016.

著書

1. 芝原美由紀: QOLの増大に向けて 小児理学療法 乳幼児期. 標準理学療法 地域理学療法 第4版. 奈良勲監修. 東京, 医学書院, 2016. p.205-210.

その他

講習会企画

1. 芝原美由紀: 杏林大学COC事業 地域住民と学生向けの講習会企画実施, パラスポーツ「ボッチャ」普及員講習会, 狛江市市民総合体育館, 2017年1月7・8日. 講習会講師 日本ボッチャ協会 杏林大学OB 学部生, 講習会内容 競技説明と用具紹介 正式ルール説明 コート作成とミニゲーム.

中野 尚子

講演

1. 儀間裕貴, 渡辺はま, 木原秀樹, 中野尚子, 中村友彦, 多賀厳太郎: Fidgety movements観察評価と四肢運動特性の関連. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
2. 村田裕康, 仁藤健太, 渡辺玲央斗, 芝原美由紀, 中野尚子: 疑似高齢者による滑り易い床面での歩行の検討. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
3. Gima H, Watanabe H, Kihara H, Nakano H, Konishi Y, Nakamura T, Taga G: Characteristics of head position and spontaneous movements of limbs in

infants who later developed ASD. the International Conference on Cerebral Palsy and other Childhood-onset Disabilities 2016, Sweden, 2016年6月1-4日.

4. 中野尚子: 満期産新生児のGMsの質的变化の経過について. GMs研究会, 東京, 2016年7月2日.
5. 中野尚子: 正常運動発達と発達障害児について. 杏林大学連携事業研修会, 羽村, 2016年9月2日.
6. 中野尚子: 脳性麻痺の理学療法: 家庭でのアプローチ. 上尾すてっぷの会, 上尾, 2016年11月19日.
7. 儀間裕貴, 島谷康司, 木原秀樹, 中野尚子, 渡辺はま, 多賀厳太郎: Fidgety movementsの観察評価と四肢自発運動特性. 発達神経科学学会第5回大会, 東京, 2016年11月26-27日.
8. 中野尚子: 小児理学療法について. 国立障害者リハビリテーションセンター, 所沢, 2017年1月24日.

論文

1. 儀間裕貴, 渡辺はま, 木原秀樹, 中野尚子, 中村友彦, 多賀厳太郎: 極低出生体重児におけるFidgety Movements評価と四肢自発運動特性. 理学療法学 44(2):115-123, 2017.

著書

1. 中野尚子: 新生児期・乳児期に観察されるジェネラルムーブメント. 発達148号. 京都, ミネルヴァ書房, 2016. p.26-31.

その他

1. 儀間裕貴, 渡辺はま, 木原秀樹, 中野尚子, 中村友彦, 多賀厳太郎: 第3回日本小児理学療法学会学術集会 学術集会長賞, Fidgety movements観察評価と四肢運動特性の関連, 四日市, 2016年11月6日.

八並 光信

講演

1. 齋藤利恵, 八並光信, 八並宏子, 鎌田奈穂: 長期臨床実習における生活リズムとPVT課題(注意力)の継時的変化. 第73回日本生理人類学会, 大阪, 2016年6月4-5日.
2. 齋藤利恵, 八並光信, 芝原美由紀, 八並宏子, 丹羽正利: 長期間の臨床実習におけるPVT課題からみた注意力の継時的変化 1事例報告. 第50回日本作業療法学会, 札幌, 2016年9月9-11日.
3. 齋藤利恵, 八並光信, 石坂珠美: A大学における女子大学生の睡眠状況と心理的要因について. 第14回東京都作業療法学会, 東京, 2016年11月19-20日.
4. 齋藤匠哉, 一場友実, 茂木基, 上野稔之, 解良武士, 八並光信: 円背高齢者の歩行時における呼吸法の違いが呼吸循環応答に及ぼす影響. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 東京, 2016年10月10-11日.

論文

1. 齋藤利恵¹, 八並光信^(1杏林大学・保・作業): 臨床実習中に過度の不安を抱えた学生の心理的適応について. 東京作業療法 4:60-61, 2016.
2. 石川綾子¹, 一場友実, 中村花穂², 栗原恵蘭³, 芝原美由紀, 石井博之, 八並光信^(1八王子山王病院, 2東京女子医大, 3ケア・リンク): 高齢者疑似体験装具を用いた傾斜杖歩行時の呼吸循環応答の検討. 臨床理学療法研究 33:7-11, 2016.
3. 八並光信, 橋立博幸, 門馬博, 齋藤利恵¹, 佐々木博幸², 前錠一³, 渡辺一弘⁴ (1杏林大学・保・作業, 2コアシステムジャパン, 3北浦通信, 4創価大学・工): 新たに開発した電子角度計の信頼性と操作性に関する検討. 臨床理学療法研究 33:1-5, 2016.

4. 齋藤利恵¹, 八並光信^(1杏林大学・保・作業): 臨床実習中に過度の不安を抱えた学生の心理的適応について. 東京作業療法 4:60-61, 2016.
5. 齋藤匠哉¹, 一場友実, 茂木基², 上野稔之, 解良武士³, 八並光信^(1明生リハビリテーション病院, 2高島平中央総合病院, 3東京都健康長寿医療センター研究所): 円背高齢者の歩行時における呼吸法の違いが呼吸循環応答に及ぼす影響. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 26(Suppl): 69s, 2016.
6. 齋藤利恵¹, 八並光信, 八並宏子², 丹羽正利¹ (1杏林大学・保・作業, 2信愛デイケアセンター): 長期間の臨床実習におけるPVT課題からみた注意力の継時的変化 1事例報告. 日本作業療法学会抄録集 50:OR-1-5, 2016.
7. 齋藤利恵¹, 八並光信, 石坂珠美² (1杏林大学・保・作業, 2陽和会病院): A大学における女子大学生の睡眠状況と心理的要因について. 東京作業療法 5:84, 2017.

平成27年度追加分

論文

1. 齋藤利恵¹, 八並光信^(1杏林大学・保・作業): 日中活動量と夜間睡眠の解析による在宅生活支援へのアプローチ Actigraphを用いて. 東京作業療法 3:68, 2015.
2. 齋藤利恵¹, 八並光信, 丹羽正利^(1杏林大学・保・作業): 臨床実習における学生のストレス反応及び睡眠状況について 3次元加速度センサーを用いて. 日本作業療法学会抄録集 49:02413, 2015.

榎本 雪絵

講演

学会発表

1. 榎本雪絵, 岡島康友, 澁谷恭子, 寺本由美子, 稲垣円, 森薫, 金子郁容: 地域在住高齢者を対象とした運動継続のためのコミュニティの育成の試み. 日本理学療法学会 2016, 札幌, 2016年5月27-29日.
2. 寺尾友佑, 榎本雪絵, 安部皇子, 坂井綾音, 神野徹: トレッドミル運動及び自転車エルゴメータ運動における呼吸補助筋の筋活動について. 日本理学療法学会2016, 札幌, 2016年5月27-29日.

講演・一般向け公開講座

1. 榎本雪絵: 高齢者のためのストレッチの効果と注意点. 三鷹, 2016年9月24日.
2. 榎本雪絵: 高齢者のためのストレッチの注意点. 三鷹, 2016年10月15日.
3. 榎本雪絵: 高齢者が健やかな生活を続けるために. 八王子, 2016年11月12日.
4. 榎本雪絵: 高齢者のためのストレッチの注意点. 三鷹, 2016年11月26日.
5. 榎本雪絵: 高齢者のためのストレッチの注意点. 三鷹, 2017年1月7日.
6. 榎本雪絵: 高齢者のためのストレッチの注意点. 三鷹, 2017年2月4日.
7. 榎本雪絵: ウォーミングアップとクールダウンの基礎とポイント. 三鷹市体育協会平成28年度三鷹市スポーツ指導員一般教養研修会, 東京, 2017年2月19日.
8. 榎本雪絵: 八王子市平岡町健幸教室の自主グループ化への歩み. 三鷹市リハビリテーション協議会主催介護予防フォーラム, 東京, 2017年3月25日.

論文

1. 榎本雪絵, 中村真理¹, 新井尚子¹, 萩原直美¹ (1八王子市地域包括支援センター子安): 自主運営化を目的とした健康教室の実践と効果について. 日本自立支援介護学会誌 2016. (印刷中).

- Enomoto Y, Kodaira M¹ (¹International University of Health and Welfare Graduate School): The Influence of Living Environment on Independence level of Special Nursing Home Residents. Asian Journal of Human Services 2017. (in press).

その他

- 榎本雪絵: 第35回東京都理学療法学会大会企画・開催, 2016年6月19日, 東京.
- 榎本雪絵: 第12回医療と介護と地域をつなぐ会フォーラム・第4回南多摩福祉機器展企画・開催, 2016年11月19-20日, 東京.

一場 友実

講演

- 一場友実, 宮川哲夫, 解良武士, 津田徹, 八並光信: 慢性閉塞性肺疾患患者における運動中の呼吸助併用効果. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
- 八並光信, 斉藤利恵, 一場友実, 倉林準, 門馬博, 三宅英司: 在宅脳卒中障がい者と介護者の睡眠覚醒リズムに関する研究-3次元加速度センサーActigraphを用いて-. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
- 宮川哲夫, 一場友実: 体位排痰法. 埼玉県看護協会継続教育研修会, さいたま, 2016年6月24日, 7月19日.
- 宮川哲夫, 一場友実: 早期離床・早期理学療法のためのアセスメントとその実際. TAP研究会, 東京, 2016年6月26日, 7月24日.
- Miyagawa T, Ichiba T: Effects of oscillatory positive expiratory pressure on mucus draining, rheological property and lung mechanics: Comparison of Acapella® versus Vibralong®. 26th European Respiratory Society Annual Congress, United kingdom, September 3rd-7th, 2016.
- 齊藤匠哉, 一場友実, 解良武士他: 円背高齢者の歩行時における呼吸法の違いが呼吸循環応答に及ぼす影響-高齢者疑似体験装具を用いた検討-. 第26回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 横浜, 2016年10月10-11日.
- 宮川哲夫, 一場友実: 呼吸ケアセミナー. 東機質, 東京, 2016年10月29日.
- 一場友実: 介護予防とリハビリテーション-呼吸法も取り入れた運動療法の実践-. 杏林大学・三鷹ネットワーク大学共催 地(知)の拠点「健康寿命延伸」講座, 三鷹, 2016年12月3日.

論文

- 石川綾子¹, 一場友実, 中村花穂², 栗原恵蘭³, 芝原美由紀, 石井博之, 八並光信 (¹八王子山王病院, ²東京女子医大, ³ケア・リンク): 高齢者疑似体験装具を用いた傾斜杖歩行時の呼吸循環応答の検討. 臨床理学療法研究 33:7-11, 2016.
- 芝原美由紀, 一場友実: 大学生が行う障がい者スポーツ支援を促す取り組み. 鴨台社会福祉学論集 26:49-53, 2016.

その他

- 一場友実: 第12回関東ボッチャ選手権大会, 公認上級審判員, 東京, 2016年6月18-19日.
- 一場友実: 第18回日本ボッチャ選手権大会予選, 公認クラス分け委員, 山口, 2016年7月8-10日.
- 一場友実: 第17回東京都障害者スポーツ大会, 公認上級審判員, 東京, 2016年7月23日.
- 一場友実: 第1回ボッチャ甲子園, 公認上級審判員, 東京, 2016年8月2日.

- 一場友実: 文科省・スポーツ省主催 ボッチャイベント, 公認上級審判員, 東京, 2016年9月21日.
- 一場友実: 千葉ボッチャ選手権大会, 公認上級審判員, 東京, 2016年9月24-25日.
- 一場友実: 第18回日本ボッチャ選手権大会本大会, 公認上級審判員, 石川, 2016年11月25-27日.

倉林 準

その他

- 倉林準, 阿部秀夫, 杏林学園[特許出願]: 両面使用シャンク及び当該シャンクを備えた一対のスポーツシューズ (特願2016-196964), 2016年10月5日.
- 倉林準, 阿部秀夫, 杏林学園[特許出願]: スポーツシューズの踵部背面衝撃緩衝構造 (特願2016-196965), 2016年10月5日.

橋立 博幸

講演

学会発表

- 橋立博幸, 原田和宏, 佐藤けさ枝, 深澤雄希: 認知機能障害を有する地域在住高齢者における歩行の介助負担と歩行障害との関連. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
- 橋立博幸, 及川真人, 清水夏生, 太田智裕: 回復期リハビリテーション病棟に入院中の脳卒中者における施設内生活空間での身体活動評価と日常生活動作の自立度との関連. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
- 清水夏生, 橋立博幸, 太田智裕, 野口隆太郎, 山中誠一郎, 齋藤昭彦: 入院中の回復期脳卒中者の日常生活動作の自立度と身体活動量との関連. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
- 太田智裕, 橋立博幸, 清水夏生, 松原徹, 山中誠一郎, 野口隆太郎: 回復期リハビリテーション病棟入院中の脳卒中者における長下肢装具と短下肢装具の処方に関連する入院時の動作能力の要因. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
- 澤田圭祐, 橋立博幸, 千葉美幸, 甲田智洋, 笹本憲男: 生活機能低下を有する地域在住高齢者の床からの立ち上がり動作能力測定における物的介助の有無による絶対信頼性と最小可検変化量の差異. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
- 深澤雄希, 橋立博幸, 長沼大, 森田亮一, 笹本憲男: 地域在住高齢者における姿勢バランスの障害特性と歩行能力との関連. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
- 大沼剛, 橋立博幸, 阿部勉: 訪問リハビリテーション利用者の屋内生活空間における身体活動が在宅生活継続に及ぼす影響. 第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
- 原田和宏, 橋立博幸, 赤澤直紀, 大川直美, 井上優: 医学的リハビリテーション・ニーズ評価と発症後6か月間のADL変化の関連. 日本老年社会科学会第58回大会, 松山, 2016年6月11-12日.
- Hashidate H, Suzuki Y, Sano K, Shimizu N, Ohta T: The effects of gait training with faster touch contact with a cane on gait performance in a chronic stroke survivor. ACPT Congress 2016, Malaysia, October 7th-8th, 2016.
- Shimizu N, Hashidate H, Ota T, Saito A: Characteristics of physical activity in different

body positions and therapeutic contents during physical therapy sessions in subacute stroke inpatients. ACPT Congress 2016, Malaysia, October 7th-8th, 2016.

- Ota T, Hashidate H, Shimizu N, Saito A: Differences in improvement of mobility independence among subacute stroke inpatients who were prescribed KAFO or AFO. ACPT Congress 2016, Malaysia, October 7th-8th, 2016.
- 池内貴美, 橋立博幸, 渡邊真智子, 堀池典生: 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中者のアウトカム評価と身体能力簡易テストとの関連. リハビリテーション・ケア合同研究大会茨城2016, つくば, 2016年27-29日.
- 渡邊真智子, 橋立博幸, 池内貴美, 堀池典生: 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中者のアウトカム評価と脳卒中発症から入院までの期間との関連. リハビリテーション・ケア合同研究大会茨城2016, つくば, 2016年27-29日.
- 橋立博幸, 澤田圭祐, 笹本憲男: パーキンソン病を有する高齢症例におけるグラウンドゴルフの成績向上の検討. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.
- 清水夏生, 橋立博幸, 太田智裕: めまいを伴う歩行障害を有する小脳出血例に対する頭位変換・視運動課題を付加した歩行練習の効果の検討. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.
- 澤田圭祐, 橋立博幸, 長沼大, 甲田智洋, 柴田未里, 志茂志織, 笹本憲男: 腰椎圧迫骨折後の疼痛により生活機能が低下した在宅高齢者に対する訪問リハビリテーションの介入効果の検討. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.
- 妹尾浩一, 安藤健太, 橋立博幸: 障害者通所施設を利用した地域在住障害者における屋外移動自立度の改善が屋外生活空間での活動に及ぼす効果. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.
- 水村あゆみ, 橋立博幸, 朝倉彩, 勝田絵梨, 嵩里日奈子, 藤澤祐基, 斎藤昭彦: 歩行中の携帯電話操作と歩行路の障害物が歩行と携帯電話操作課題のパフォーマンスに及ぼす影響. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.
- 鈴木堯之, 橋立博幸, 櫻井貴紀, 小嶋弓果, 近田正幸, 藤澤祐基, 齋藤昭彦: 立位前方リーチ動作課題に対して異なる言語指示が即時的に及ぼす影響. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.
- 櫻井貴紀, 橋立博幸, 鈴木堯幸, 小嶋弓果, 藤澤祐基, 齋藤昭彦: 異なる言語指示とフィードバックが立位前方リーチ動作課題に及ぼす即時的影響の検討: 無作為化比較対照試験. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.

講演

- 橋立博幸: 高齢者が健やかに生活するための運動とリハビリテーション～介護の必要がない日常生活のために～. 八王子学園都市大学いちよう塾, 八王子, 2016年6月28日, 7月5日, 7月12日.

論文

- 橋立博幸: 高齢障害者に対する訪問理学療法の実践. 理学療法 33:608-618, 2016.
- 橋立博幸: 1ページ講座 理学療法関連用語～正しい意味がわかりますか? Neuropsychiatric inventory(NPI). 理学療法ジャーナル 50:773, 2016.
- 八並光信, 橋立博幸, 門馬博, 齋藤利恵¹, 佐々木博幸², 前錠一³, 渡辺一弘⁴ (1杏林大学保健学部作業療学科, 2株式会社コアシステムジャパン, 3株式会社北浦通信, 4創価大学工学部): 新たに開発した電子角度計の信頼性

と操作性に関する検討. 臨床理学療法研究 33:1-5, 2016.

- 原田和宏¹, 榎本豊², 小林まり子², 井上優³, 橋立博幸 (1吉備国際大, 2渡辺病院, 3吉備国際大学保健福祉研究所): 脳卒中慢性期の身体活動量の増加をめざすための研究課題. 吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要 17:29-33, 2016.

著書

- 橋立博幸: 老年症候群の評価. 高齢者理学療法学. 島田裕之編. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2017. p.183-192.
- 橋立博幸: 病院: 慢性期一療養病床. 図解 運動療法ガイド. 内山靖編. 東京, 文光堂, 2017. p.1040-1054.

村上 幸士

講演

- Murakami T: Evaluation of transverse abdominis and multifidus muscle hardness using ultrasound real-time tissue elastography. 日本超音波医学会第89回学術集会, 京都, 2016年5月27-29日.

論文

- 村上幸士: 特集「超音波検査」整形外科エコー. 杏林医学会雑誌 48(1):67-73, 2017.

藤澤 祐基

論文

- 藤澤祐基, 岡島康友¹ (1杏林大・医・リハビリテーション医学): 巧緻運動障害評価の考え方. リハ医学 54:219-225, 2017.

著書

- 藤澤祐基, 岡島康友: 歩行解析・動作解析による新たな評価 運動失調症と片麻痺の書字運動解析. 先端医療シリーズ47 臨床医とコメディカルのための最新リハビリテーション. 平澤泰介, 椿原彰夫, 才藤栄一, 水間正澄編. 東京, 先端医療技術研究所, 2016. p.220-223.

門馬 博

講演

- 門馬博, 八並光信: キャリア教育と協同学習を取り入れた情報リテラシー教育の試み～入学初年度における能動的学習態度とキャリア意識の形成に向けて～. 第51回日本理学療法学会学術大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
- 門馬博: 臨床家のための研究入門～研究的思考によって臨床の水準を高めるために～. 第35回東京都理学療法学会学術大会, 多摩, 2016年6月19日.
- 門馬博, 中本久之: アクティブラーニングは療法士教育に何をもたらすか. 全国リハビリテーション学校協会第29回教育研究大会, 高松, 2016年8月19-20日.
- 門馬博, 柳川進, 齋藤利恵: リハビリ専門職による地域リハビリテーションの実践. 連雀&駅周辺地区地域包括支援センター ケアマネ交流会, 三鷹, 2017年2月24日.
- 門馬博, 柳川進, 齋藤利恵, 竹田紘崇, 奥住綾子: 三鷹市の『元気創造』を支えるリハビリ専門職による予防事業展開の現在地. 第2回日本予防理学療法学会サテライト集会, 名古屋, 2017年3月5日.
- 門馬博: 三鷹市のリハビリテーション専門職と介護予防のこれから. 三鷹市リハビリテーション協議会介護予防フォーラム, 三鷹, 2017年3月25日.

論文

- 八並光信, 橋立博幸, 門馬博, 齋藤利恵¹, 佐々木博幸², 前錠一³, 渡辺一弘⁴ (1杏林大・保健・作業療法, 2株式会

社コアシステムジャパン, ³株式会社北浦通信, ⁴創価大学): 新たに開発した電子角度計の信頼性と操作性に関する検討. 臨床理学療法研究 33:1-5, 2016.

松村 将司

講演

1. 松村将司: 膜の基礎と筋膜リリースの実際. 平成28年度視覚障害教育夏季専門研修, 東京, 2016年8月4日.
2. 松村将司: 数年前より再発するめまい, 気分不快感に対してEpley法が著効した症例. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.
3. 川本智代, 松村将司: 脳梗塞にて回復期病棟入院中にめまいが出現しLempert roll法による理学療法が著効した症例. 第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 横浜, 2016年10月29-30日.

論文

1. 松村将司, 竹井仁¹ (¹首都大学東京大学院): 中高年パドミントン障害に対する評価と筋膜アプローチ. 徒手理学療法 17(1):19-23, 2017.
2. Usa H¹, Matsumura M, Ichikawa K², Takei H² (¹Tokyo Metropolitan University, ²Graduate School of Human Health Sciences, Tokyo Metropolitan University): A Maximum Muscle Strength Prediction Formula Using Theoretical Grade 3 Muscle Strength Value in Daniels et al.'s Manual Muscle Test, in Consideration of Age: An Investigation of Hip and Knee Joint Flexion and Extension. Rehabil Res Pract: 1-9, 2017.

● 作業療法学科 ●

下田 信明

講演

1. 山口幸三郎, 原田祐輔, 下田信明: リハ特化型訪問看護ステーション「訪問R-station」における利点と課題について. 第21回日本在宅ケア学会学術集会, 東京, 2016年7月16日.
2. 鈴木優喜子, 長澤明, 望月秀樹, 下田信明: アルツハイマー病患者におけるAMPSとADL・IADL能力との関連. 第50回日本作業療法学会, 札幌, 2016年9月9日.
3. 原田祐輔, 森田千晶, 下田信明, 望月秀樹: 地域在住脳血管疾患患者における自己実現の欲求の充足に関する調査研究(第2報). リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城2016, つくば, 2016年10月28日.
4. 下田信明: 認知症のケアとリハビリテーション・作業療法. 八王子学園都市大学いちょう塾, 八王子, 2016年6月10・17・24日, 7月1・8日.

論文

1. Harada Y¹, Mochizuki H¹, Takeda K², Nagashima I¹, Sato Y³, Uchihara M⁴, Shimoda N*(Corresponding author) (¹Department of Occupational Therapy, Kyorin University, ²Fujita Health University, ³Tokushima University, ⁴Tsurumaki Onsen Hospital): Performance strategy in the hand mental rotation task in hemiplegic stroke patients. Journal of Ergonomic Technology 16: 15-23, 2016.
2. Shibui M¹, Mochizuki H², Takeda K³, Sato Y⁴, Nagashima I², Harada Y², Shimoda N*(Corresponding author) (¹Nishikumagaya Hospital, ²Department of Occupational Therapy, Kyorin University, ³Fujita

Health University, ⁴Tokushima University): Performance strategy in the hand mental rotation task in patients with schizophrenia. Journal of Ergonomic Technology 16: 24-30, 2016.

著書

1. 下田信明: 学術交流. 国際リハビリテーション学. 河野真編. 東京, 羊土社, 2016. pp.160-166.

その他

1. 下田信明: 日本在宅ケア学会平成28年度第1回公開講座企画・開催, 東京, 2016年7月17日.

丹羽 正利

講演

1. 村松憲, 玉木徹, 生友聖子, 志茂聡, 石黒友康, 丹羽正利, 佐々木誠一: 糖尿病性ニューロパチーによって錐体路細胞が減少する. 第59回日本糖尿病学会年次学術集会, 京都, 2016年5月19-21日.
2. 村松憲, 玉木徹, 生友聖子, 石黒友康, 丹羽正利, 佐々木誠一: 糖尿病性ニューロパチーは錐体路を標的にする. 第51回日本理学療法学術大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
3. 玉木徹, 生友聖子, 村松憲, 石黒友康, 大城直美, 丹羽正利: 遅筋を支配する運動ニューロンは糖尿病に脆弱性を持つ. 第51回日本理学療法学術大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
4. 生友聖子, 玉木徹, 石黒友康, 大城直美, 丹羽正利, 村松憲: 糖尿病性ニューロパチーは横隔神経を障害する. 第51回日本理学療法学術大会, 札幌, 2016年5月27-29日.
5. Muramatsu K, Tamaki T, Ikutomo M, Takamura H, Shimo S, Niwa M, Sasaki S-I: Does diabetes target corticospinal tract neurons?. 第39回日本神経科学大会, 横浜, 2016年7月20-22日.
6. Tamaki T, Ikutomo M, Muramatsu K, Niwa M: Alterations in contractile property of hindlimb muscles in diabetic rat. 第39回日本神経科学大会, 横浜, 2016年7月20-22日.
7. Ikutomo M, Tamaki T, Oshiro N, Mishina T, Niwa M, Muramatsu K: Diabetic neuropathy targets the phrenic nerve in rats. 第39回日本神経科学大会, 横浜, 2016年7月20-22日.
8. Muramatsu K, Niwa M, Sasaki S-I: Alterations of movement representations in motor cortex of type 1 diabetic rats. 第94回日本生理学会大会, 浜松, 2017年3月28-30日.

論文

1. Tamaki T¹, Ikutomo M¹, Arakawa S¹, Komagata J¹, Niwa M, Muramatsu K¹ (¹Health Science University): Exercise training prevent decrease of muscle strength in otsuka long-evans tokushima fatty rats: A Preliminary Study. International Journal of Physical Therapy & Rehabilitation 2: 2016. <https://doi.org/10.15344/2455-7498/2016/12>.
2. 生友聖子¹, 玉木徹¹, 大城直美, 丹羽正利, 三科貴博¹, 志茂聡¹, 村松憲¹ (¹健康科学大学): 高血糖が横隔神経運動ニューロンに及ぼす影響-運動ニューロン数に着目した予備的研究-. 運動障害誌 26: 49-52, 2016.
3. 玉木徹¹, 生友聖子¹, 村松憲¹, 丹羽正利 (¹健康科学大学): ヒラメ筋を支配するニューロンは糖尿病に脆弱性をもつ. 運動障害誌 26: 99-102, 2016.
4. Muramatsu K¹, Niwa M, Tamaki T¹, Ikutomo M¹, Masu Y¹, Hasegawa T², Shimo S¹, Sasaki S-I³: (¹Health Science University, ²Mount Fuji Research Institute, ³Ibaraki Prefectural University of Health

Sciences): Effect of streptozotocin-induced diabetes on motoneurons and muscle spindles in rats. *Neuroscience Research* 115: 21-28, 2017.

望月 秀樹

講演

1. 鈴木優喜子, 長澤明, 望月秀樹, 下田信明: アルツハイマー病患者におけるAMPSとADL・IADL能力との関連. 第50回日本作業療法学会, 札幌, 2016年9月9-11日.
2. 原田祐輔, 森田千晶, 下田信明, 望月秀樹: 地域在住脳血管疾患患者における自己実現の欲求の充足に関する調査研究(第2報). *リハビリテーション・ケア合同研究大会*, つくば, 2016年10月27-29日.
3. 望月秀樹: パワーリハビリテーション概論・各論. *パワーリハビリテーション実務者研修会*, 仙台, 2016年6月19日.
4. 望月秀樹: パワーリハビリテーション概論および各論. *パワーリハビリテーション実務者研修会*, 広島, 2016年9月4日.
5. 望月秀樹: パワーリハビリテーション疾患別運営方法. *パワーリハビリテーション指導員研修会*, 東京, 2016年9月17-18日.
6. 望月秀樹: パワーリハビリテーション概論・各論・評価学. *パワーリハビリテーション実務者研修会*, 山形, 2015年11月20日.
7. 望月秀樹: パワーリハビリテーション運営理論II. *パワーリハビリテーション上級指導員研修会*, 東京, 2016年11月26日.

論文

1. Harada Y, Mochizuki H, Takeda K, Nagashima I, Sato Y, Uchiyama M, Shimoda N: Performance strategy in the hand mental rotation task in hemiplegic stroke patients. *J Ergon Technol* 16: 15-23, 2016.
2. Shibui M, Mochizuki H, Takeda K, Sato Y, Nagashima I, Harada Y, Shimoda N: Performance strategy in the hand mental rotation task in patients with schizophrenia. *J Ergon Technol* 16: 24-30, 2016.

その他

1. 望月秀樹: 第15回パワーリハビリテーション研究会 第10回日本自立支援介護学会 合同学術大会企画・開催, 東京, 2016年6月4-5日.

鈴木 健太郎

講演

1. 鈴木健太郎, 北越大輔, 打田沙姫, 鈴木雅人: 転倒予防へのロボットを用いたゲームの活用. 第50回日本作業療法学会, 札幌, 2016年9月10日.
2. 鈴木健太郎, 北越大輔, 打田沙姫, 鈴木雅人: 転倒予防へのロボットを用いたゲームの活用. 第13回東京都作業療法士学会, 東京, 2016年11月20日.
3. 北越大輔, 清水俊平, 鈴木健太郎, 鈴木雅人: タブレット端末を用いた頭の体操システムの利用意欲促進に関する研究. *電子情報通信学会・福祉情報工学研究会*, 松山, 2017年2月10日.
4. 野口颯太, 青木壘, 北越大輔, 鈴木健太郎, 鈴木雅人: 運動自由度向上を実現する新規対戦型ゲームを導入した転倒予防システムの印象および安全性評価. *電子情報通信学会総合大会*, 名古屋, 2017年3月25日.

その他

1. 鈴木健太郎: NPHC研究会企画・開催, 東京, 2016年6月4日.

早坂 友成

講演

1. 早坂友成: 生涯教育研修会現職者選択研修ー精神障害領域の作業療法. 東京, 2016年5月29日.
2. 早坂友成: 生涯教育研修会・認定作業療法士共通研修会管理運営. 東京, 2016年6月4-5日.
3. 早坂友成: 地域包括ケアシステム推進委員会研修会ー地域ケア会議に資する人材育成研修会. 東京, 2016年6月25-26日.
4. 早坂友成, 長島泉, 坪井貴嗣, 菊地俊暁, 渡邊衡一郎: 難治性うつ状態における回避性パーソナリティ障害と作業特徴の関係. 第50回日本作業療法学会, 東京, 2016年9月9日.
5. 早坂友成: うつ病・双極性障害の作業療法: 社会生活を見据えた急性期アプローチ. 第58回作業療法全国研修会, 仙台, 2016年11月5日.
6. 早坂友成: 生涯教育研修会・認定作業療法士共通研修会管理運営. 新潟, 2016年11月26-27日.

論文

1. 早坂友成: うつ病・双極性障害の作業療法. *臨床作業療法* 14(1):15-20, 2017.

著書

1. 早坂友成: 第1回PT・OT国家試験模擬試験ー精神神経系. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2016.
2. 早坂友成: 理学療法士・作業療法士国家試験2016年度ー全国統一模擬試験・秋模試. 2016.
3. 早坂友成(編著): 精神科作業療法・運動プログラム実践ガイドブック. 東京, メジカルビュー社, 2017.
4. 早坂友成: 第2回PT・OT国家試験模擬試験ー精神神経系. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2017.
5. 早坂友成: 理学療法士・作業療法士国家試験2016年度ー全国統一模擬試験・冬模試. 2017.

その他

学会主催

1. 早坂友成: 第58回作業療法全国研修会企画・開催. 仙台, 2016年11月5・6日.
2. 早坂友成: 第59回作業療法全国研修会企画・開催. 熊本, 2017年1月4・5日.

齋藤 利恵

講演

1. 齋藤利恵, 八並光信, 八並宏子, 鎌田奈穂: 長期臨床実習における生活リズムとPVT課題(注意力)の継時的変化. 第73回日本生理人類学会, 大阪, 2016年6月4-5日.
2. 齋藤利恵, 八並光信, 芝原美由紀, 八並宏子, 丹羽正利: 長期間の臨床実習におけるPVT課題からみた注意力の継時的変化 1事例報告. 第50回日本作業療法学会, 札幌, 2016年9月9-11日.
3. 岡部尚, 内海宏文, 大村聖路, 齋藤利恵, 宮城哲郎: 利用者の活動量を増やすために始めた歩行練習とその成果. *高齢者福祉実践・研究大会*, 東京, 2016年9月30日.
4. 齋藤利恵, 八並光信, 石坂珠美: A大学における女子大学生の睡眠状況と心理的要因について. 第14回東京都作業療法学会, 東京, 2016年11月19-20日.
5. 齋藤利恵, 門馬博, 柳川進, 瓜生田和正: みんなでつくる地域リハビリテーション. 三鷹市連雀・駅周辺地区地域包括支援センター ケアマネ交流会, 三鷹, 2017年2月24日.
6. 齋藤利恵, 門馬博, 竹田紘崇, 榎本雪絵, 柳川進: アクティビティを通して高齢者を元気に. 三鷹市リハピ

リテーション協議会 介護予防フォーラム, 三鷹, 2017年3月25日.

論文

1. 齋藤利恵, 八並光信¹ (杏林大・保・理学療法学科) : 臨床実習中に過度の不安を抱えた学生の心理的適応について. 東京都作業療法 4: 60-61, 2016.
2. 齋藤利恵, 八並光信¹, 八並宏子², 鎌田奈穂³ (杏林大・保健・理学療法学科, ²信愛ダイケアセンター, ³信愛病院) : 長期臨床実習における生活リズムとPVT課題(注意力)の継時的変化. 日本生理人類学会誌 21(Suppl. 1): 73, 2016.
3. 齋藤利恵, 八並光信¹, 石坂珠美² (杏林大・保健・理学療法学科, ²陽和会病院) : A大学における女子大学生の睡眠状況と心理的要因について. 東京都作業療法 5:84, 2017.
4. 八並光信¹, 橋立博幸¹, 門馬博¹, 齋藤利恵, 佐々木博幸², 前錠一³, 渡辺一弘⁴ (杏林大学・保・理学療法学科, ²コアシステムジャパン, ³北浦通信, ⁴創価大学) : 新たに開発した電子角度計の信頼性と操作性に関する検討. 臨床理学療法研究 33:1-5, 2016.

鈴木 優喜子

講演

1. 鈴木優喜子, 長澤明, 望月秀樹, 下田信明 : アルツハイマー病患者におけるAMPSとADL・IADL能力との関連. 第50回日本作業療法学会, 札幌, 2016年9月9-11日.

論文

1. 鈴木優喜子, 長澤明, 小林隆司 : 認知症治療病棟におけるアルツハイマー病患者の認知症重症度と行動・心理症状の関連. 日本作業療法研究学会雑誌 19(1):1-6, 2016.

長島 泉

講演

1. 早坂友成, 長島泉, 坪井貴嗣, 菊地俊暁, 渡邊衛一郎 : 難治性うつ状態における回避性パーソナリティと作業特徴の関係. 第50回日本作業療法学会, 札幌, 2016年9月9-11日.

論文

1. Harada Y, Mochizuki H, Takeda K¹, Nagashima I, Sato Y², Uchiyama M³, Shimoda N (Fujita Health University, ²Tokushima University, ³Tsurumaki Onsen Hospital) : Performance strategy in the hand mental rotation task in hemiplegic stroke patients. Journal of Ergonomic Technology 16(1):15-23, 2016.
2. Shibui M, Mochizuki H, Takeda K¹, Sato Y², Nagashima I, Harada Y, Shimoda N (Fujita Health University, ²Tokushima University) : Performance strategy in the hand mental rotation task in patients with schizophrenia. Journal of Ergonomic Technology 16(1) 24-30, 2016.

著書

1. 長島泉:運動プログラムの実際 事例報告 ストレッチとサーキットトレーニングによる運動プログラム 杏林大学の場合.精神科作業療法 運動プログラム実践ガイドブック. 高橋章郎, 早坂友成編. 東京, メジカルビュー社, 2017. p.126-141.

原田 祐輔

講演

1. 原田祐輔: リスク管理の経験を語る. 第18回日本在宅医学大会・第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会, 東京, 2016年7月16-17日.
2. 山口幸三郎, 原田祐輔, 下田信明: リハ特化型訪問看護ステーション「訪問R-station」における利点と課題について. 第18回日本在宅医学会大会・第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会, 東京, 2016年7月16-17日.
3. 原田祐輔, 森田千晶, 下田信明, 望月秀樹: 地域在住脳血管疾患患者における自己実現の欲求の充足に関する調査研究(第2報). リハビリテーション・ケア合同研究大会, つくば, 2016年10月27-29日.
4. 山口幸三郎, 原田祐輔: 訪問における座位型体重測定による体重管理の工夫. リハビリテーション・ケア合同研究大会, つくば, 2016年10月27-29日.

論文

1. Harada Y, Mochizuki H, Takeda K¹, Nagashima I, Sato Y², Uchiyama M³, Shimoda N (Fujita Health University, ²Tokushima University, ³Tsurumaki Onsen Hospital) : Performance strategy in the hand mental rotation task in hemiplegic stroke patients. J Ergon Technol 16: 15-23, 2016.
2. Shibui M¹, Mochizuki H, Takeda K², Sato Y³, Nagashima I, Harada Y, Shimoda N (Graduate School of Health Sciences, Kyorin University, ²Fujita Health University, ³Tokushima University) : Performance strategy in the hand mental rotation task in patients with schizophrenia. J Ergon Technol 16: 24-30, 2016.

その他

受賞

1. 山口幸三郎, 原田祐輔: 優秀演題賞ポスター発表部門: 訪問における座位型体重測定による体重管理の工夫. リハビリテーション・ケア合同研究大会, つくば, 2016年10月27-29日.

● 診療放射線技術学科 ●

石井 和夫

講演

1. 横川彰朋, 細川真優美, 平野良平, 細田香織, 石井和夫, 柴崎浩美, 古田隆: 血中4β-ヒドロキシコレステロール濃度はCYP3A活性のバイオマーカーとして有用か?. 第33回日本TDM学会・学術大会, 宇都宮, 2016年5月28-29日.
2. 木下瑞貴, 細田香織, 小原映, 柴崎浩美, 横川彰朋, 石井和夫: LC-MS/MSによるヒト血漿中におけるequolとその抱合代謝物の分析法の検討. 第41回日本医用マズスペクトル学会年会, 名古屋, 2016年9月15-16日.
3. 小原映, 木下瑞貴, 細田香織, 柴崎浩美, 横川彰朋, 石井和夫: 月経周期延長に影響するイソフラボン抱合代謝物の分析. 日本薬学会第137年会, 仙台, 2017年3月24-27日.
4. 木下瑞貴, 小原映, 細田香織, 柴崎浩美, 横川彰朋, 石井和夫: LC-MS/MSによるEquolとその光学異性体を含む抱合代謝物の分析の検討. 日本薬学会第137年会, 仙台, 2017年3月24-27日.

論文

1. 塩川亮太, 細田香織, 石井和夫: LC-MS/MS法によるヒト尿中におけるバニルマンデル酸, ホモバニリン酸, メタネフリン, ノルメタネフリンおよびクレアチニンの同

時定量法の検討. 杏林医学会雑誌 47: s11, 2016.

著書

1. 石井和夫, 加藤克彦, 河村誠治, 三田明弘, 爲近美榮, 寺平良治, 丹羽俊文, 南一幸, 村石浩, 山本智朗: 放射性同位元素の製造と放射性医薬品. メディカルサイエンス 放射性同位元素検査学. 河村誠治, 三田明弘, 寺平良治, 山本智朗編. 東京, 近代出版, 2016. p. 39-46.

岡田 洋二

著書

1. 岡田洋二: 核医学インビトロ検査. 核医学検査技術学. 大西英雄, 市原隆, 山本智朗監修. 東京, オーム社, 2016. p. 384-390.

久原 重英

講演

1. 渡部直樹, 清野真也, 高濱英彰, 石川寛延, 金澤崇史, 久原重英, 伴苗修平: Polarity Corrected(PC) Variable TI Prep Toolに関する基礎的検討. 第72回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2016年4月14-17日.
2. Mori M, Kuhara S, Kobayashi K, Yamada M, Senoo A: Ultra-short TEによる乾燥木材の年輪年代計測の試み. 第44回日本磁気共鳴医学会大会, さいたま, 2016年9月9-11日.
3. Ishimura R, Kariyasu T, Yokoyama K, Nitatori T, Yoshioka T, Miyazaki I, Kuhara S, Ichinose N, Bannae S: Motion Probe自動設定機能を用いた3T冠動脈MRA初期経線-1.5T従来法との比較-. 第44回日本磁気共鳴医学会大会, さいたま, 2016年9月9-11日.
4. Adachi T, Miyazaki I, Nitatori T, Yokoyama K, Kuhara S, Bannae S, Kassai Y: Polarity Corrected TI prep法を用いた1.5Tと3TでのT1値測定精度の基礎的検討. 第44回日本磁気共鳴医学会大会, さいたま, 2016年9月9-11日.
5. Kawakami T, Yoshida T, Hirohata M, Kuhara S, Mori A: モルフォロジーマッチングによるR波検出技術を用いたロバスト心電図同期法: 検出性能の評価. 第44回日本磁気共鳴医学会大会, さいたま, 2016年9月9-11日.
6. 中山昂, 佐藤哲大, 久原重英, 湊小太郎, 市之瀬伸保, 金谷重彦: 心臓MRIにおけるECV Map作成のための位置ずれ補正アルゴリズムの検討. 生体医工学シンポジウム2016, 旭川, 2016年9月17-18日.
7. 孔恵子, 佐藤哲大, 中山昂, 市之瀬伸保, 久原重英, 金谷重彦, 湊小太郎: 心位相自動検出を用いた心電図非同期下におけるReal-time Cine-MRIの画質向上法の開発. 電子情報通信学会医用画像研究会 (MI), 那覇, 2017年1月18日.
8. Nakayama S, Sato T, Ko K, Ichinose N, Kuhara S, Kanaya S, Minato K, Nomura C: Motion correction algorithm for ECV Map in cardiac MRI. International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA), 那覇, 2017年1月19-20日.
9. 中島綾香, 川喜田雅則, 實松豊, 久原重英, 竹内純一: MRI Acceleration by Super Resolution. 電子情報通信学会IT・ISEC・WBS合同研究会, 東京, 2017年3月9-10日.

論文

1. Sato T¹, Okada T², Kuhara S³, Togashi K², Kanaya S¹, Minato K⁴ (¹Nara Institute of Science and Technology, ²Graduate School of Medicine Kyoto University, ³Toshiba Medical Systems Corporation, ⁴Advanced Scientific Technology & Management

Research Institute of KYOTO): Automatic Identification of the Cardiac Rest Period Using Template Updating for Magnetic Resonance Coronary Angiography. Adv Biomed Eng, 5:26-31, 2016.

黒木 一典

講演

1. Kariyasu T, Kuroki K, Masuda Y, Katase S, Soejima K, Tateishi H, Kinoshita Y, Shiga H, Watanabe M, Nitatori T: "Sensor-based electromagnetic navigation system for guidewire cannulation in renal and iliac arteries: A Phantom Model Study". The 75th Annual Meeting of the Japan Radiological Society. Yokohama, April 14th-17th, 2016.
2. Kariyasu T, Kuroki K, Masuda Y, Katase S, Soejima K, Tateishi H, Kinoshita Y, Shiga H, Watanabe M, Nitatori T: "Sensor-Based Electromagnetic navigation system for assessment of catheter distal end position in renal artery. A Phantom Model Study". The 45th Annual Meeting of the Japanese Society of Interventional Radiology, Nagoya, May 26th-28th, 2016.
3. Kariyasu T, Kuroki K, Masuda Y, Katase S, Soejima K, Tateishi H, Kinoshita Y, Shiga H, Watanabe M, Nitatori T: "Accurate and reliable wire position tracking without fluoroscopy using a 3D navigation system for angiography in the left renal artery: a phantom model study". CIRSE 2016 (Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe), Spain, September 10th-14th, 2016.
4. 木下雄介, 増田裕, 黒木一典, 菊安俊哉, 立石秀勝, 似鳥俊明: 左鎖骨下静脈から右浅大腿静脈にかけ誤挿入されたガイドワイヤーを経皮的に除去しえた一例. 第52回日本医学放射線学会, 東京, 2016年9月16-18日.
5. 黒木一典: 技術革新とIVR-近未来のIVR支援マシーン; 磁場を用いた新しい位置情報装置 (MediGuide) の靱帯血管モデルでの検討. 第52回日本医学放射線学会秋季臨床大会, 東京, 2016年9月17日.
6. 菊安俊哉, 黒木一典, 横山健一, 似鳥俊明: シャントPTAを想定した模擬血管における磁場を用いたナビゲーションシステムでのカテーテル先端位置の検討. 第84回日本心臓血管放射線研究会, 津, 2017年1月21日.
7. Kariyasu T, Kuroki K, Masuda Y, Katase S, Soejima K, Tateishi H, Kinoshita Y, Shiga H, Watanabe M, Nitatori T: "Sensor-Based Electromagnetic navigation system for assessment of catheter distal end position in renal artery. A Phantom Model Study". ECR 2017 (European congress of radiology) Austria, March 1st-5th, 2017.
8. 菊安俊哉, 黒木一典: CTガイド下経皮経肝の胆嚢ドレナージが有用であった胆石胆嚢炎の1例. 第53回日本腹部救急医学会総会, 横浜, 2017年3月2-3日.

論文

1. 木下雄介, 増田裕, 本谷啓太, 横山健一, 黒木一典, 似鳥俊明, 藤原正親¹, 菅間博¹ (¹杏林大・医・病理学): 奇静脈への還流を認めた乳児肺葉内分画症の1例. 臨床放射線 62(1): 203-208, 2017.
2. 志賀久恵, 増田裕, 立石秀勝, 森永圭吾, 菊安俊哉, 高橋信一, 黒木一典, 似鳥俊明: バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術(B-RTO)変法にて治療した出血性十二指腸静脈瘤の1例. 臨床放射線 61(8): 1049-1053, 2016.

著書

1. 黒木一典, 増田裕, 岩元香保里, 森永圭吾, 似鳥俊明:

子宮動脈塞栓術 総論：歴史，治療の根拠を含めて．産科・婦人科領域のIVR．中島康雄，田島廣之，鈴木直，田中守編．東京，メジカルビュー社，2016．p.105-115.

中島 延淑

講演

1. 中島延淑：DICOMの基礎と最近の動向．日本放射線技術学会 第209回東京支部技術フォーラム，東京，2016年6月24日．

著書

1. 志村一男，酒井芳雄，荒川哲，中島延淑，吉川克治：放射線写真学 アナログからデジタルへ．東京，富士フィルムメディカル，2017．

橋本 雄幸

講演

1. Shinohara H, Hashimoto T: Two-Dimensional Compressed Sensing MRI using Cartesian Sampling-Computer Simulation Study. 第111回日本医学物理学学会学術大会，横浜，2016年4月14-17日．
2. Shinohara H, Hashimoto T: Two-Dimensional Compressed Sensing MRI using Radial Sampling-Computer Simulation Study. 第111回日本医学物理学学会学術大会，横浜，2016年4月14-17日．
3. Shinohara H, Hashimoto T: Development of Learning Tool for Compressed Sensing MRI. 第111回日本医学物理学学会学術大会，横浜，2016年4月14-17日．
4. 小島慎也，橋本雄幸，篠原広行：A Fundamental Study of Compressed Sensing Magnetic Resonance Imaging Using Cartesian Sampling: Correlation between Signal-to-noise Ratio and Image Restoration. 第72回日本放射線技術学会総会学術大会，横浜，2016年4月14-17日．
5. 小島慎也，橋本雄幸，篠原広行：New Algebraic Reconstruction Technique for Compressed Sensing Magnetic Resonance Imaging Using Radial Sampling. 第72回日本放射線技術学会総会学術大会，横浜，2016年4月14-17日．
6. 橋本雄幸：核医学に関連ある理工学等に関する基礎知識．第8回核医学専門技師養成講座，東京，2016年5月28日．
7. 橋本雄幸：情報科学．2016年医学物理士ミニマム講習会（物理工学系），東京，2016年6月5日．
8. 橋本雄幸：楽しみ楽しませる意識とHRNへの期待—プログラミングを通じて—．第1回HRN講演会，東京，2016年7月28日．
9. 橋本雄幸：教育講演「疫学データの解釈に必要な基礎知識」．第44回日本放射線技術学会周期学術大会 第43回放射線防護部会，さいたま，2016年10月13-15日．
10. 篠原広行，橋本雄幸：L1正則化Map-EM法による画像再構成—計算機シミュレーション実験．第56回日本核医学会学術総会，名古屋，2016年11月3-5日．
11. 橋本雄幸：核医学における画像再構成の基礎．神奈川核医学研究会 第397回定例研究会，横浜，2017年2月24日．

論文

1. 橋本雄幸：連載 Excelを用いた基礎演習(1)．医学物理 36(3):173-178, 2016.

著書

1. 篠原広行，橋本雄幸：Excelによる医用画像処理入門．東京，医療科学社，2016．
2. 大西英雄，市原隆，山本智朗，橋本雄幸：画像再構成理

論／空間分解能補正／OSEM法への各種補正法の組み込み．核医学検査技術学改訂3版．東京，オーム社，2016．

山本 智朗

講演

1. 山本智朗：New Horizon of Education for Radiological Technologists 診療放射線技師教育の新しい展望．第29回玄鼻放射線学会，千葉，2016年6月25日．
2. 三平悠莉，佐藤英介，小林邦典，只野喜一，坂本岳士，松友紀和，山本智朗：各種金属製品に対する磁性体センサーの感度調査．第112回日本医学物理学学会学術大会，宜野湾，2016年9月8-10日．
3. 平出大貴，松友紀和，佐藤英介，只野喜一，山本智朗：線条体イメージングにおける収集・処理条件がSBRにおよぼす影響．第36回日本核医学技術学会総会学術大会，名古屋，2016年11月3-5日．
4. 松原有里，松友紀和，佐藤英介，只野喜一，山本智朗：123I-MIBG 定量指標算出における散乱線推定ウインドウの最適化．第36回日本核医学技術学会総会学術大会，名古屋，2016年11月3-5日．
5. 松本紗貴，松友紀和，佐藤英介，只野喜一，山本智朗：SPECTによるSUV 値の定量性に影響を与える因子の検証．第36回日本核医学技術学会総会学術大会，名古屋，2016年11月3-5日．
6. 新藤翼，松友紀和，佐藤英介，只野喜一，山本智朗：111In SPECT imaging における逐次近似画像再構成条件の最適化．第36回日本核医学技術学会総会学術大会，名古屋，2016年11月3-5日．

著書

1. 大西英雄，市原隆，山本智朗（監修）：核医学検査技術学．東京，オーム社，2016．
2. 山本智朗：腫瘍・炎症シンチグラフィ．核医学検査技術学．大西英雄，市原隆，山本智朗監修，東京，オーム社，2016．p.374-383．
3. 河村誠治，三田明弘，寺平良治，山本智朗（編集）：放射性同位元素検査学．東京，近代出版，2016．
4. 山本智朗：取扱いと安全管理 放射線防護と関係法令．放射性同位元素検査学．河村誠治，三田明弘，寺平良治，山本智朗編，東京，近代出版，2016．p.31-38．
5. 山本智朗：放射能・放射線の測定 放射線測定機器．放射性同位元素検査学．河村誠治，三田明弘，寺平良治，山本智朗編，東京，近代出版，2016．p.100-107．

小池 貴久

著書

1. 小池貴久：臨床実習・実技編：核医学検査．RT臨床実習ルートマップ．橋本光康編．東京．メジカルビュー社．2016．p.198-202, 214-221.

田中 薫

講演

1. 田中薫，田村陽介：ノニバミドの安定な配座異性体とその成因．日本薬学会第137年会，仙台，2017年3月24-27日．
2. 田村陽介，田中薫：アルキル基の異なるパニロイドの安定構造の検討．日本薬学会第137年会，仙台，2017年3月24-27日．

報告書

1. 田中薫：ポテンシャルエネルギー面に基づいた回転異性

体の配座探索. 分子科学研究所 岡崎共通研究施設 計算科学研究センター 2015年度 施設利用報告書.

関 健介

講演

1. 松塚雅博, 関健介, 金子哲也: 環境試料水の砒素濃度と水質パラメーター フォッサマグナエリアの水質特性について. 第57回日本公衆衛生学会総会, 大阪, 2016年10月26-28日.
2. 荻津真理子, 関健介: 中学校・高等学校における運動部所有の救急箱に関する実態調査. 日本学校救急看護学会第11回学術集会, 東京, 2016年12月17-18日.

本谷 啓太

講演

1. 本谷啓太: 骨軟部. 第52回日本医学放射線学会秋季臨床大会, 東京, 2016年9月18日.

論文

1. 木下雄介, 増田裕, 本谷啓太, 横山健一, 黒木一典, 似鳥俊明, 藤原正親¹, 菅間博¹ (杏林大・医・病理学): 奇静脈への還流を認めた乳児肺葉内分画症の1例. 臨床放射線 62(1): 203-208, 2017.

松友 紀和

講演

1. 松友紀和, 川上雄二, 長木昭男, 山尾房枝, 佐々木雅之: ¹²³I-FP-CITを用いた線条体イメージングの新たな定量指標について. 第72回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2016年4月14-17日.
2. 松友紀和: 核医学担当業務に必要な知識と技術—神経伝達機能—. 第72回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2016年4月14-17日.
3. Norikazu M, Masaiki F, Tomoaki Y, Hideo O: Radiation Dose Reduction Using a Bismuth-coated Latex Shield over the Eye Lens in Brain SPECT/CT. 29th Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine, Spain, October 15th-19th, 2016.
4. 松友紀和: PET/CT撮像時に知っておくべきこと. 第4回京滋PETトワイライトカンファレンス, 京都, 2016年10月28日.
5. 平出大貴, 松友紀和, 佐藤英介, 只野喜一, 山本智朗: 線条体イメージングにおける収集・処理条件がSBRにおよぼす影響. 第36回日本核医学技術学会総会学術大会, 名古屋, 2016年11月3-5日.
6. 松原有里, 松友紀和, 佐藤英介, 只野喜一, 山本智朗: ¹²³I-MIBG 定量指標算出における散乱線推定ウインドウの最適化. 第36回日本核医学技術学会総会学術大会, 名古屋, 2016年11月3-5日.
7. 松本紗貴, 松友紀和, 佐藤英介, 只野喜一, 山本智朗: SPECTによるSUV値の定量性に影響を与える因子の検証. 第36回日本核医学技術学会総会学術大会, 名古屋, 2016年11月3-5日.
8. 新藤翼, 松友紀和, 佐藤英介, 只野喜一, 山本智朗: ¹¹¹In SPECT imaging における逐次近似画像再構成条件の最適化. 第36回日本核医学技術学会総会学術大会, 名古屋, 2016年11月3-5日.
9. Norikazu M, Tomoaki Y: Validation of OSEM reconstruction with resolution recovery derived

from point source measurements: a phantom study. The 6th Annual International ASNMT, Taiwan, November 19th, 2016.

論文

1. 松友紀和, 甲谷理温¹, 矢田伸広², 見田秀次³, 甲斐勇二⁴, 前田幸人⁵, 酒井崇行⁶, 大西英雄⁷, 佐々木雅之⁸ (川崎大,²島根大,³県立広島病院,⁴ジェイアール広島病院,⁵香川大,⁶九州労災病院,⁷県立広島大,⁸九州大): ドーズキャリブレーションの測定精度および施設間差の評価. 日放技会誌 72(5):410-415, 2016.
2. 福永正明¹, 大西英雄², 松友紀和, 山本浩之¹ (倉敷中央病院,²県立広島大): CT画像計測プログラムを用いた円形エッジ法における標的径とFOVに対するMTF測定精度. 日放技会誌 72(6):489-495, 2016.
3. 亀井山弘晃¹, 松友紀和, 長木昭男¹, 山尾房枝¹ (倉敷中央病院): ¹²³I-FP-CIT SPECT における画像再構成方法が定量性と診断能に与える影響. 日放技会誌 72(7):595-601, 2016.
4. 長木昭男¹, 松友紀和, 小野口昌久², 高木昭浩³ (倉敷中央病院,²金沢大,³帝京大): 心電図同期SPECTデータを用いた非同期心筋血流SPECT収集時間の推定法. 核医学技術 36(4):485-491, 2016.

著書

1. 松友紀和: 核医学検査 内分泌系. 核医学検査技術学. 大西英雄, 市原隆, 山本智朗監修. 東京, オーム社, 2016. p. 282-293.
2. 松友紀和: 臨床実習・実技編: 核医学検査 脳の疾患. RT臨床実習ルートマップ. 橋本光康編. 東京, メジカルビュー社, 2016. p. 207-213.
3. 松友紀和: 臨床実習・実技編: 核医学検査 呼吸器系の疾患. RT臨床実習ルートマップ. 橋本光康編. 東京, メジカルビュー社, 2016. p. 240-244.
4. 松友紀和: 臨床実習・実技編: 核医学検査 腫瘍の検索, てんかん, 心疾患の診断. RT臨床実習ルートマップ. 橋本光康編. 東京, メジカルビュー社, 2016. p. 245-250.
5. 松友紀和: シミュレーション実験. 初学者のための核医学実験入門. 市川肇編. 東京, 日本放射線技術学会, 2016. p. 107-111.

佐藤 英介

講演

1. Mihira Y, Sato E, Koboyashi K, Tadano K, Sakamoto T, Matsutomo N, Yamamoto T: Investigation of sensitivity of the magnetic sensor for various metal products. 第112回日本医学物理学会大会, 宜野湾, 2015年9月8-10日.
2. 松原有里, 松友紀和, 佐藤英介, 只野喜一, 山本智朗: ¹²³I-MIBG 定量指標算出における散乱線推定ウインドウの最適化. 第36回日本核医学技術学会総会学術大会, 名古屋, 2016年11月3-5日.
3. 新藤翼, 松友紀和, 佐藤英介, 只野喜一, 山本智朗: ¹¹¹In SPECT imaging における逐次近似画像再構成条件の最適化. 第36回日本核医学技術学会総会学術大会, 名古屋, 2016年11月3-5日.
4. 平出大貴, 松友紀和, 佐藤英介, 只野喜一, 山本智朗: 線条体イメージングにおける収集・処理条件がSBRにおよぼす影響. 第36回日本核医学技術学会総会学術大会, 名古屋, 2016年11月3-5日.
5. 松本紗貴, 松友紀和, 佐藤英介, 只野喜一, 山本智朗: SPECTによるSUV値の定量性に影響を与える因子の検証. 第36回日本核医学技術学会総会学術大会, 名古屋, 2016年11月3-5日.

論文

1. Hakamata Y^{1,2,3}, Sato E, Komi S², Moriguchi Y¹, Izawa S⁴, Murayama N², Hanakawa T¹, Inoue Y², Tagaya H² (¹National Center of Neurology and Psychiatry, ²Kitasato University, ³The University of Tokyo, ⁴National Institute of Occupational Safety and Health) : The functional activity and effective connectivity of pulvinar are modulated by individual differences in threat-related attentional bias. Sci Rep. 6:34777:1-12, 2016.
2. 磯辺智範¹, 山本哲哉¹, 阿久津博義¹, 佐藤英介, 只野喜一, 増本智彦¹, 榮武二¹, 松村明¹ (筑波大学) : MRSの基礎から臨床まで. 医学物理 36(2) : 85-91, 2016.
3. 佐藤英介, 磯辺智範¹, 山本哲哉¹, 松村明¹ (筑波大学) : 拡散テンソル画像の基礎原理と画像解析. 医学物理 36(2) : 97-102, 2016.
4. 只野喜一, 磯辺智範¹, 佐藤英介, 武居秀行¹, 小林大輔¹, 森祐太郎¹, 富田哲也¹, 榮武二¹ (筑波大学) : モンテカルロ法入門—Dose to mediumとDose to waterを中心に—. 医学物理 36(3) : 148-150, 2016.
5. 磯辺智範¹, 森祐太郎¹, 武居秀行¹, 佐藤英介, 只野喜一, 小林大輔¹, 富田哲也¹, 榮武二¹ (筑波大学) : TPSにおける密度変換の取扱について. 医学物理 36(3) : 156-160, 2016.

著書

1. 佐藤英介, 高田健太 : 診療放射線技師 第68回国家試験 (2016年) 対照表ダウンロードサービス 基礎医学大要. 診療放射線技師 ブルー・ノート 基礎編 3rd edition 第3版. 福士政広編. 東京, メジカルビュー社, 2016. p. 1-3.
2. 佐藤英介 : fMRI (functional MRI) (機能的MRI) / DTI (diffusion tensor imaging) / Perfusion MRI / MR spectroscopy / 臨床画像 + TIPS. 診療画像技術学 II b MRI 第1版. 福士政広編. 東京, 医療科学社, 2016. p. 151-155 / p. 156-158 / p. 159 / p. 160-162 / p. 163-247.

石川 純也

講演

1. 石川純也, 甲斐倫明 : マウス造血幹/前駆細胞における放射線照射後の酸化DNA損傷と活性酸素量の長期的解析. 日本保健物理学会第49回研究発表会, 弘前, 2016年6月30日-7月1日.

論文

1. 迫田晃弘¹, 片岡憲昭², 石川純也, 太田朗生³, 鈴木龍彦⁴, 西山祐一⁵, 廣内淳¹, 外間智規¹ (日本原子力研究開発機構, ²東京都立産業技術研究センター, ³千代田テクノル, ⁴広島大学, ⁵島根大学) : 第49回研究発表会における企画セッションの印象記. 保健物理 51(3) : 181-186, 2016.

坂本 岳士

講演

1. 榎本裕美, 吉田祥子, 坂本岳士, 山下晃司, 中西章仁, 大戸眞喜男 : Study of effective breast thickness for low dose digital mammography system. 第72回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 2016年4月14-17日.
2. 根岸綾花, 榎本裕美, 吉田祥子, 坂本岳士, 山下晃司, 中西章仁 : デジタルマンモグラフィにおける被ばく低減モードと被写体厚に関する基礎的検討. 日本放射線技術学会第70回東京支部春期学術大会, 東京, 2016年5月21-22日.
3. 湯田紗織, 水野将人, 橋本直也, 清水裕太, 池田郁夫,

坂本岳士 : 前立腺小線源療法における術者への被ばくに関する検討. 日本放射線技術学会第70回東京支部春期学術大会, 東京, 2016年5月21-22日.